

市民・事業者意識調査結果（速報）

1. 調査概要	1- 1
2. 市民意識調査（単純集計）	1- 1
2-1. 回答者の属性	1- 1
2-2. 日常生活における脱炭素行動について	1- 3
2-3. 身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響	1- 8
2-4. 市が優先的に取り組む必要がある施策	1- 9
2-5. 温暖化・気候変動対策の日常生活への影響	1-10
2-6. 再エネ・省エネ設備の導入について	1-11
2-7. 再エネ設備の導入について	1-12
2-8. 木質バイオマス利用を活発にする取組	1-13
2-9. 丹波市ゼロカーボンシティ宣言について	1-14
2-10. 丹波市ゼロカーボンアクションについて	1-15
2-11. 丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度について	1-16
2-12. 地球温暖化や再エネ・省エネに関する情報の情報源	1-17
2-13. ゼロカーボンシティの実現に向けた情報	1-18
2-14. 自由意見	1-18
3. 事業者意識調査（単純集計）	1-19
3-1. 回答者の属性	1-19
3-2. 事業活動での脱炭素行動の取組	1-21
3-3. 身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響	1-28
3-4. 温室効果ガス排出量の把握と削減目標の設定	1-29
3-5. 2030年までに温室効果ガス排出量をどの程度削減できるか	1-30
3-6. 事業活動におけるエネルギー使用状況の把握	1-31
3-7. 丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度	1-32
3-8. 事業活動への影響	1-33
3-9. 市が優先的に取り組む必要がある施策	1-34
3-10. 再エネ・省エネ設備の導入について	1-35
3-11. 再生可能エネルギーと省エネルギー設備の導入可能性について	1-36
3-12. 自由意見	1-37
■資料編	
市民意識調査 調査票	
事業者意識調査 調査票	

1. 調査概要

地球温暖化や再生可能エネルギーに関する理解度や取り組み意識等の把握を目的に、市民及び事業者を対象とした意識調査（アンケート調査）を実施しました。

調査概要を以下に示します。

表 1-1 意識調査の概要

区分	市民意識調査	事業者意識調査
調査対象	丹波市民（15歳以上） 2,000人	丹波市内の事業者 100者
調査方法	郵送アンケート	郵送アンケート
調査期間	調査票発送：令和5年10月13日 返送期限：令和5年11月06日	調査票発送：令和5年10月13日 返送期限：令和5年11月06日
調査票配布数	2,000	100
調査票回収数	901	38
回収率	45%	38%

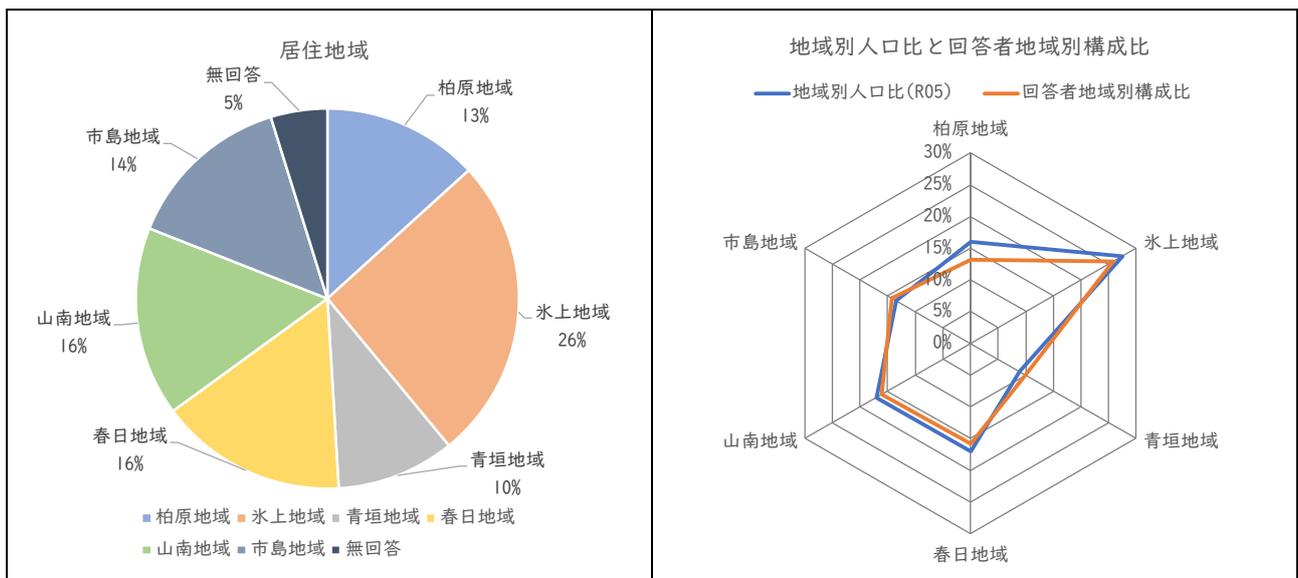
2. 市民意識調査（単純集計）

2-1. 回答者の属性

回答者の地域構成は、概ね丹波市の地域別人口比を反映した結果となっておりますが、柏原地域の回答者の構成比は人口比よりやや低くなっています。

■居住地域（単位：人、％）

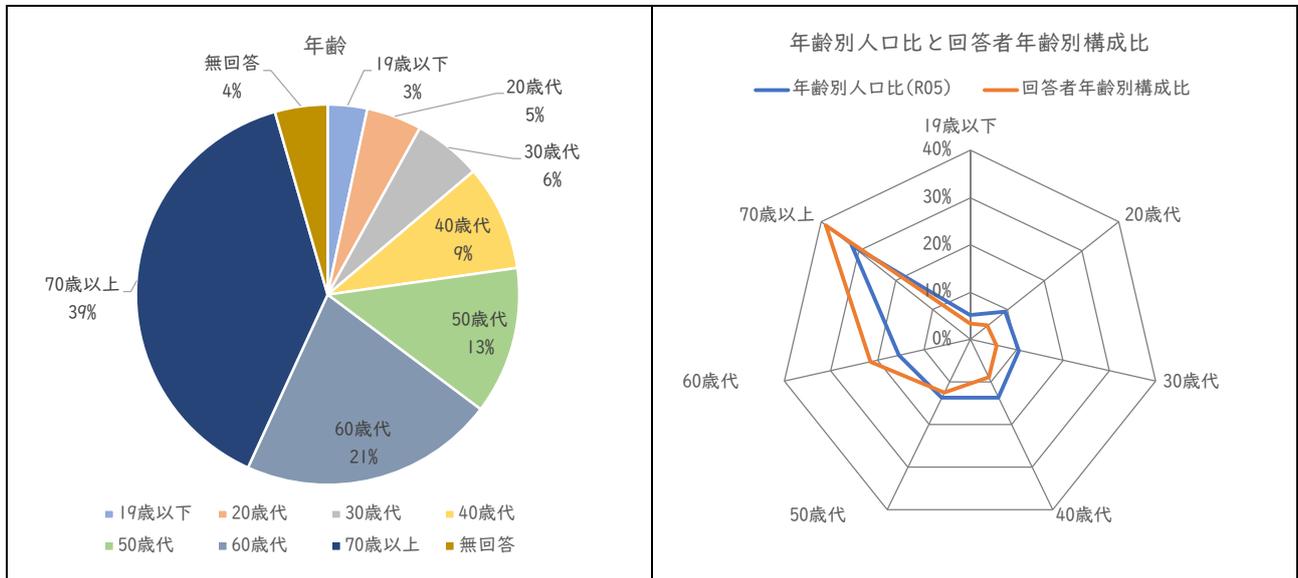
区分	柏原地域	氷上地域	青垣地域	春日地域	山南地域	市島地域	無回答
回答数	119	233	90	143	145	128	43
回答率	13%	26%	10%	16%	16%	14%	5%



回答者の年齢構成は、概ね年齢別人口比を反映していますが、40歳代以下の回答者構成比は人口比より低く、60歳代、70歳代の構成比は人口比より高くなっています。

■年齢（単位：人、％）

区分	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
回答数	30	42	52	81	113	194	349	40
回答率	3%	5%	6%	9%	13%	22%	39%	4%



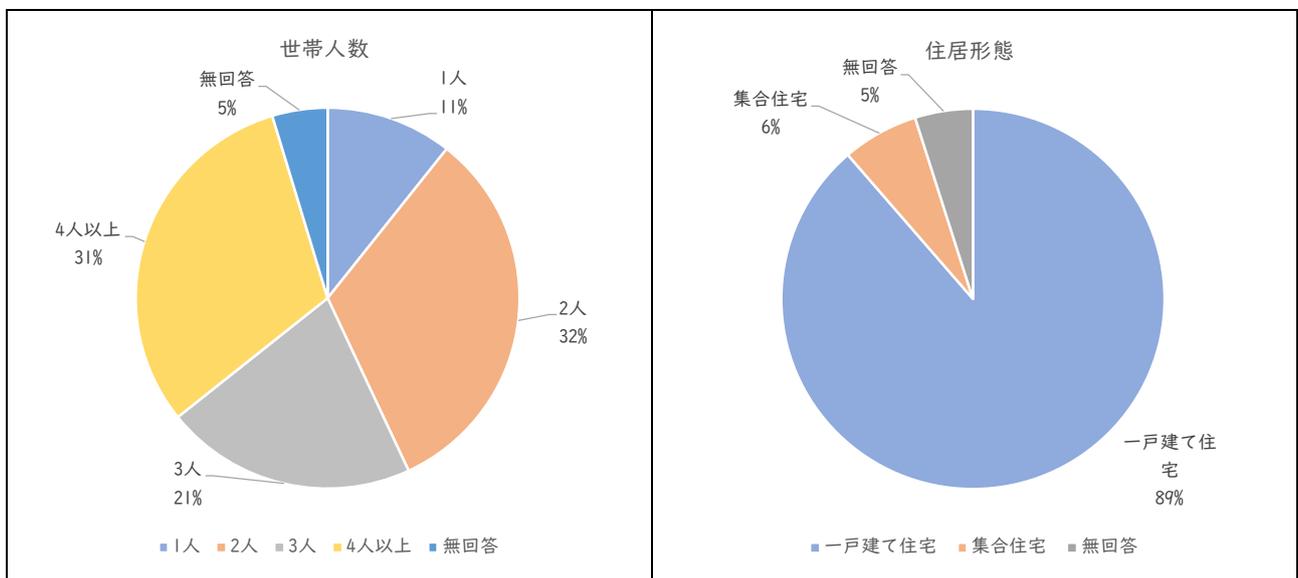
回答者の世帯人数は、2人世帯が32%と最も多く、次いで、4人以上の世帯が31%となっています。また、回答者の約90%は一戸建て住宅に居住しています。

■世帯人数（単位：人、％）

区分	1人	2人	3人	4人以上	無回答
回答数	96	292	191	280	42
回答率	11%	32%	21%	31%	5%

■住居形態（単位：人、％）

区分	一戸建て住宅	集合住宅	無回答
回答数	799	58	44
回答率	89%	6%	5%



2-2. 日常生活における脱炭素行動について

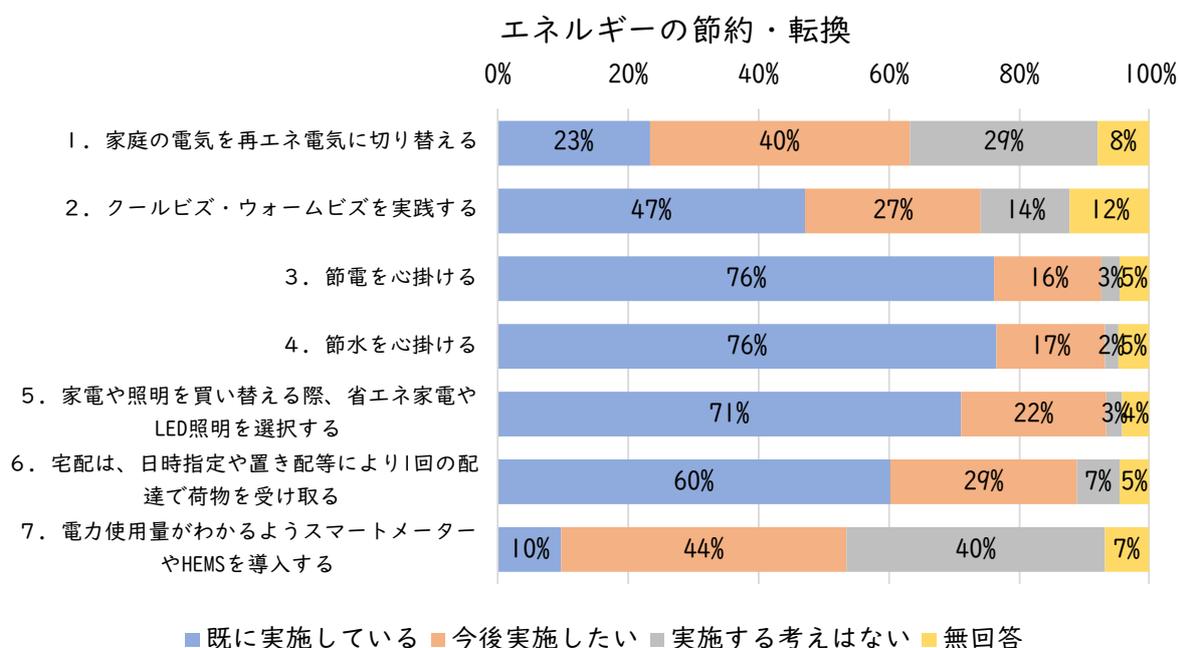
脱炭素社会の実現には一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。環境省が公表している脱炭素な暮らし方「ゼロカーボンアクション30」について、項目ごとにあなたの考え方に近いもの1つを選び、をつけてください。

■エネルギーの節約・転換に関する取組

- 「節電」「節水」「省エネ家電の買い替え」は7割以上の方が「既の実施している」と回答し、「今後実施したい」をあわせると約9割の方が取組に意欲的でした。
- 「1回の配達で荷物を受け取る（再配達防止）」は、6割の方が「既の実施している」と回答し、「今後実施したい」をあわせると約9割の方が取組に意欲的でした。
- 「電気を再エネ電気に切り替える」「スマートメーターやHEMSを導入する」は「既の実施している」人は少ないですが、「今後実施したい」をあわせると半数の方が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：人）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
1. 家庭の電気を再エネ電気に切り替える	210	359	260	72	901
2. クールビズ・ウォームビズを実践する	425	243	122	111	901
3. 節電を心掛ける	687	148	25	41	901
4. 節水を心掛ける	689	150	19	43	901
5. 家電や照明を買い替える際、省エネ家電やLED照明を選択する	640	201	23	37	901
6. 宅配は、日時指定や置き配等により1回の配達で荷物を受け取る	542	259	59	41	901
7. 電力使用量がわかるようスマートメーターやHEMSを導入する	88	394	357	62	901

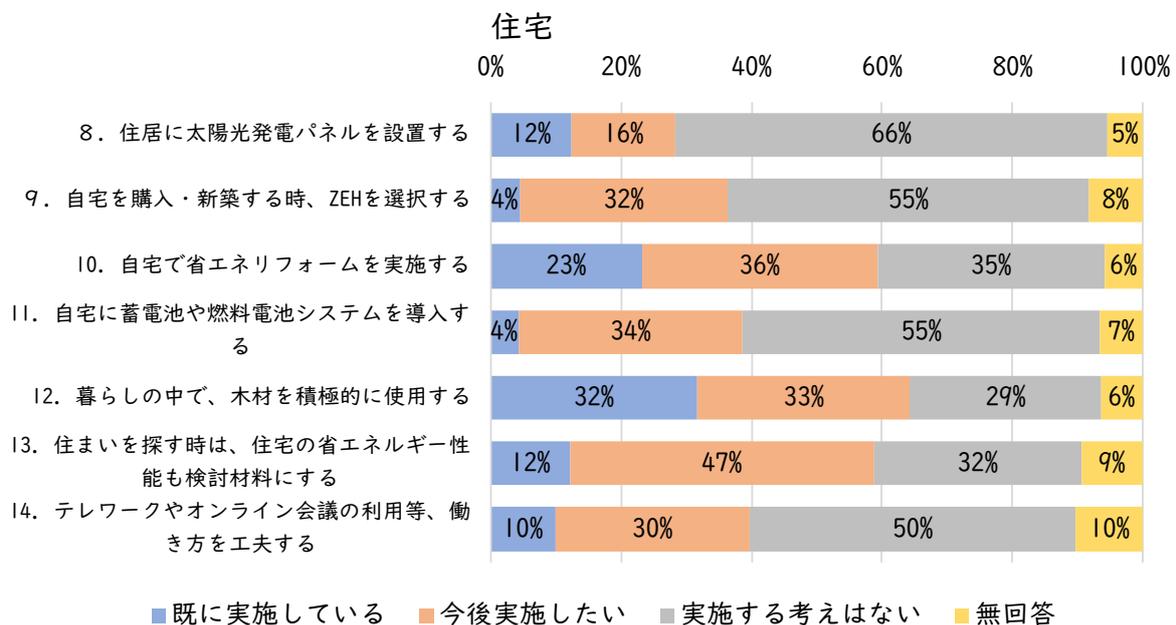


■住居に関する取組

- 「暮らしの中で、木材を積極的に使用する」「自宅で省エネルギーフォームを実施する」は「既の実施している」人は2～3割ですが、「今後実施したい」をあわせると半数以上の人が取組に意欲的でした。
- 「太陽光発電パネルを設置する」「自宅の購入・新築する時はZEHを選択する」「蓄電池や燃料電池システムを導入する」は半数以上の方が「実施する考えはない」と回答しました。

集計結果（単位：人）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
8. 住居に太陽光発電パネルを設置する	112	143	597	49	901
9. 自宅を購入・新築する時、ZEHを選択する	40	288	498	75	901
10. 自宅で省エネルギーフォームを実施する	209	325	314	53	901
11. 自宅に蓄電池や燃料電池システムを導入する	39	309	494	59	901
12. 暮らしの中で、木材を積極的に使用する	286	293	264	58	901
13. 住まいを探す時は、住宅の省エネルギー性能も検討材料にする	110	419	287	85	901
14. テレワークやオンライン会議の利用等、働き方を工夫する	89	269	450	93	901

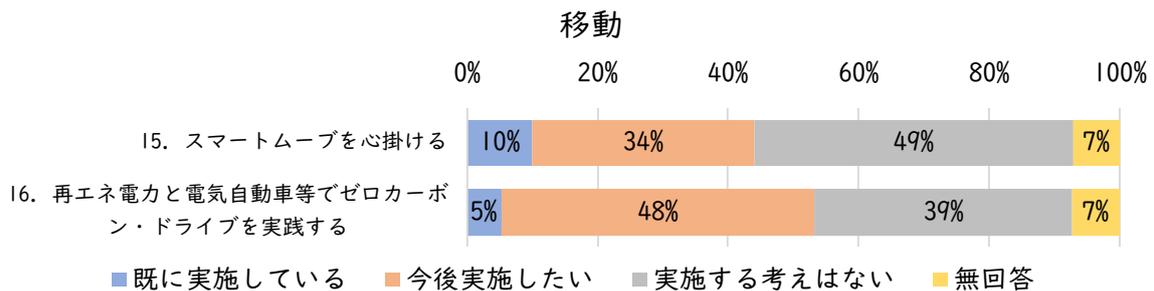


■移動に関する取組

- 「スマートムーブ」（自転車や公共交通等、自動車以外で移動）は半数の人が「実施する考えはない」と回答しました。
- 「ゼロカーボン・ドライブ」（再エネと電気自動車によるCO₂排出ゼロ運転）は、5%の人が既に実施しており、「今後実施したい」をあわせると半数の人が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：人）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
15. スマートムーブ（自転車や公共交通等、自動車以外で移動）を心掛ける	90	306	441	64	901
16. 再エネ電力と電気自動車等でゼロカーボン・ドライブを実践する	47	433	355	66	901

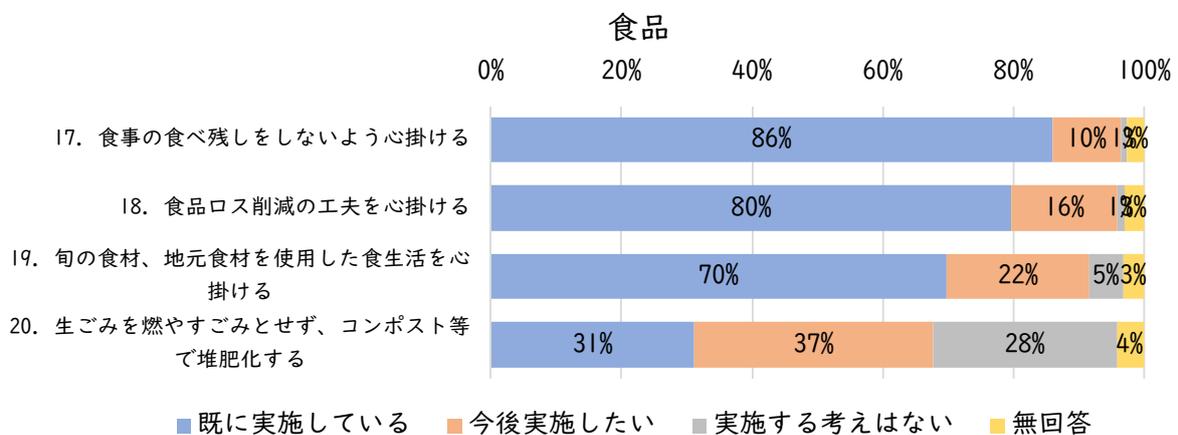


■食品に関する取組

- 「食べ残しをしない」「食品ロス削減」は8割以上、「地産地消」は7割以上の人が既に実施しており、「今後実施したい」をあわせると9割以上の人が取組に意欲的でした。
- 「生ごみの堆肥化」は既に実施している人は31%ですが、「今後実施したい」をあわせると約7割の人が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：人）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
17. 食事の食べ残しをしないよう心掛ける	775	94	9	23	901
18. 食品ロス削減の工夫を心掛ける	719	145	10	27	901
19. 旬の食材、地元食材を使用した食生活（地産地消）を心掛ける	629	197	47	28	901
20. 生ごみを燃やすごみとせず、コンポスト等で堆肥化する	281	329	254	37	901



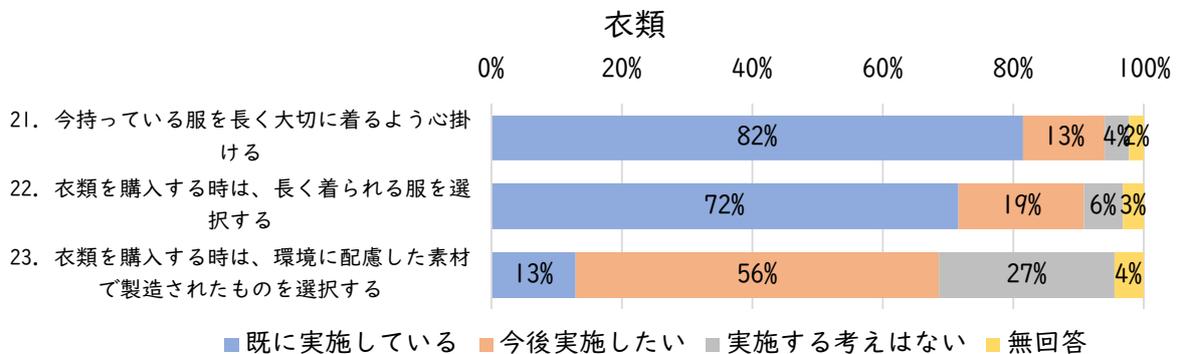
■衣類に関する取組

○「持っている服を長く大切に着る」「長く着られる服を選択する」は7~8割の人が「既
に実施している」と回答しており、「今後実施したい」をあわせると9割以上の人が取
組に意欲的でした。

○「環境に配慮した素材で製造されたものを選択する」は、「既の実施している」人は
13%ですが、半数以上の人「今後実施したい」と回答しました。

集計結果（単位：人）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
21. 今持っている服を長く大切に着るよう心掛ける	735	113	34	19	901
22. 衣類を購入する時は、長く着られる服を選択する	645	174	54	28	901
23. 衣類を購入する時は、環境に配慮した素材で製造されたものを選択する	117	501	243	40	901

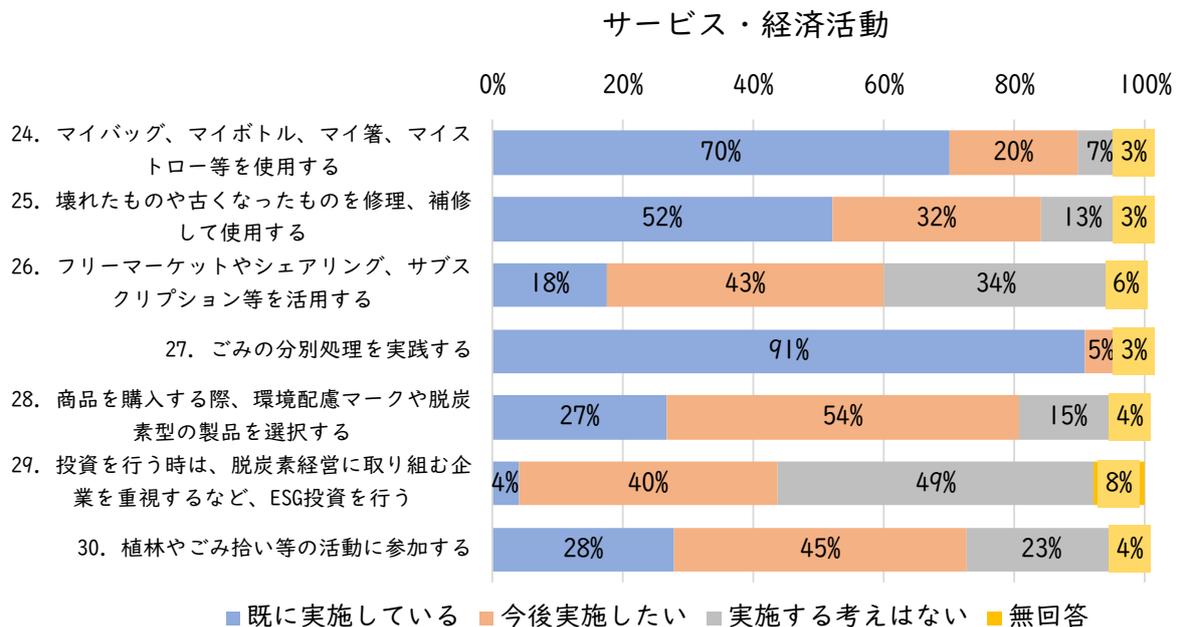


■サービスや経済活動に関する取組

- 「ごみの分別処理」は9割の人が「既に実施している」と回答しました。また、「実施する考えはない」の回答はなく、無回答を除くと、全ての回答者が取組に意欲的でした。
- 「マイバッグ、マイボトル」は7割の人が既に実施しており、「今後実施したい」をあわせると9割の人が取組に意欲的でした。
- 「脱炭素型の製品を選択」「植林やごみ拾い」は既に実施している人は3割程度ですが、約5割の人が「今後実施したい」と回答しました。

集計結果（単位：人）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
24. マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使用する	631	177	63	30	901
25. 壊れたものや古くなったものを修理、補修して使用する	469	288	114	30	901
26. フリーマーケットやシェアリング、サブスクリプション等を活用する	158	383	309	51	901
27. ごみの分別処理を実践する	819	45	8	29	901
28. 商品を購入する際、環境配慮マークや脱炭素型の製品を選択する	241	486	134	40	901
29. 投資を行う時は、脱炭素経営に取り組む企業を重視するなど、ESG投資を行う	37	357	437	70	901
30. 植林やごみ拾い等の活動に参加する	251	404	206	40	901



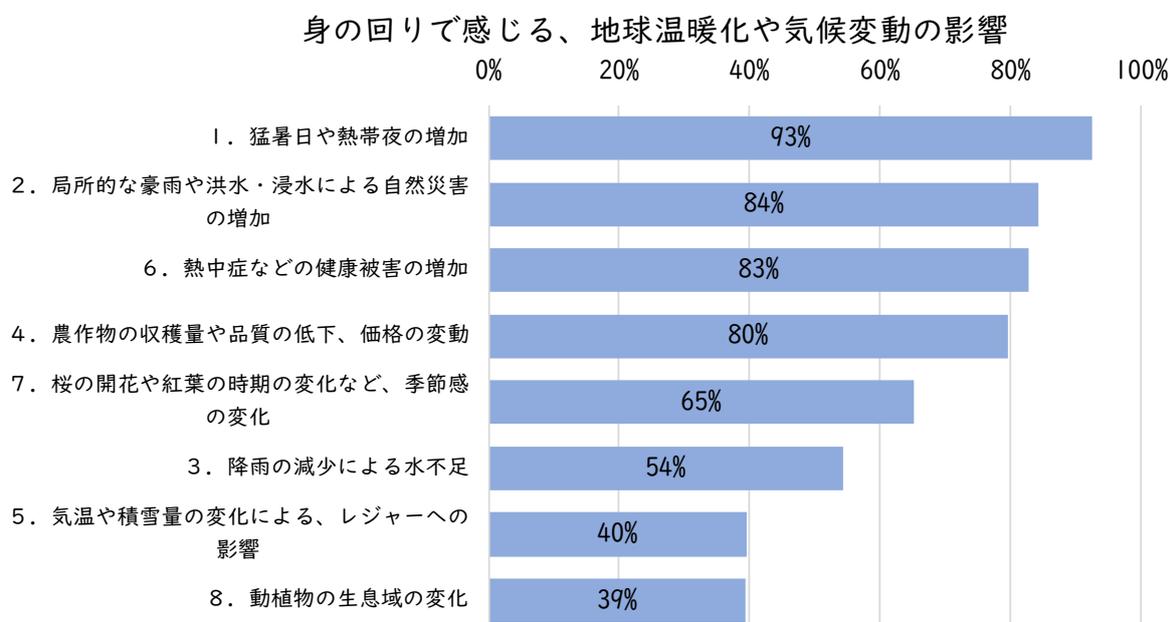
2-3. 身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響

あなたの身の回りで、どのような地球温暖化や気候変動の影響を感じますか。あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑をつけてください。

- 93%の人が「猛暑日や熱帯夜の増加」を感じていると回答しました。
- 「自然災害の増加」「熱中症などの健康被害の増加」は8割を超える人が感じていました。
- 「農作物の収穫量や品質の低下、価格の変動」といった、農業や食料品への影響も80%の人が感じていないと回答しました。
- 「桜の開花や紅葉の時期の変化など、季節感の変化」も6割を超える人が感じていないと回答しました。
- 「降雨の減少による水不足」は半数以上の人が感じていないと回答しました。
- 「レジャーへの影響」「動植物の生息域の変化」は4割の人が感じていないと回答しました。

集計結果（単位：人）

設問	選択者数	回答者数
1. 猛暑日や熱帯夜の増加	834	901
2. 局所的な豪雨や洪水・浸水による自然災害の増加	760	901
3. 降雨の減少による水不足	489	901
4. 農作物の収穫量や品質の低下、価格の変動	717	901
5. 気温や積雪量の変化による、レジャー（海水浴やスキー等）への影響	356	901
6. 熱中症などの健康被害の増加	746	901
7. 桜の開花や紅葉の時期の変化など、季節感の変化	587	901
8. 動植物の生息域の変化（見慣れない動植物を見かけるようになった等）	355	901



※グラフは選択者数が多い順番で表示

2-4. 市が優先的に取り組む必要がある施策

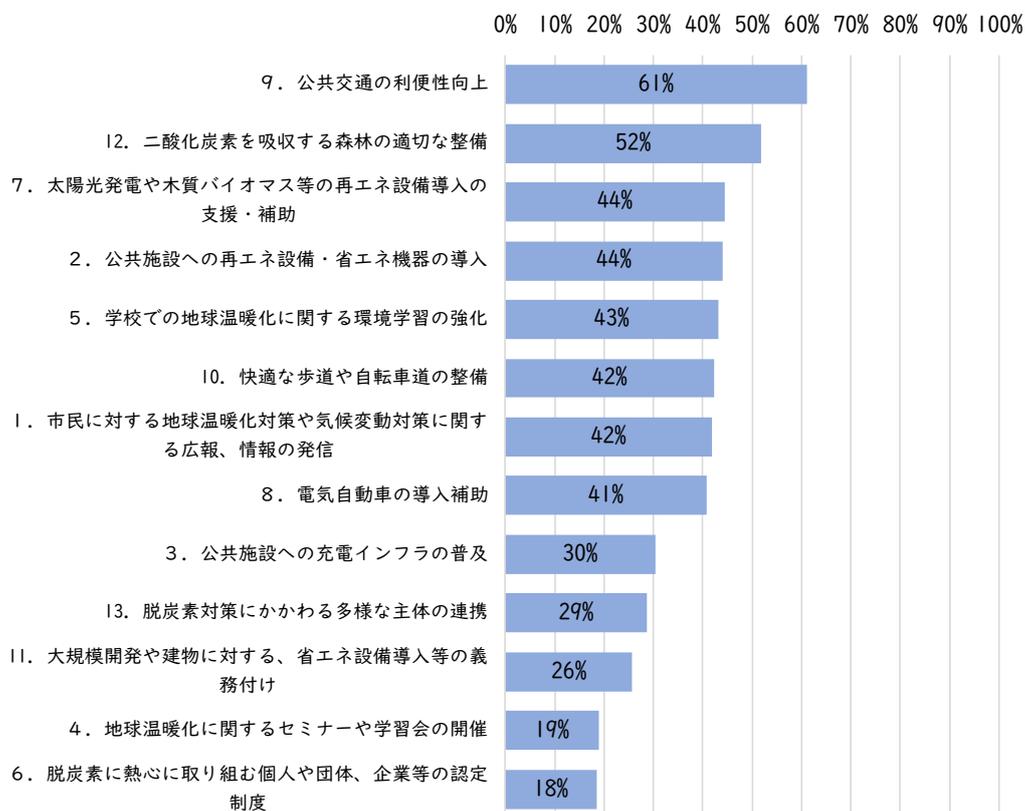
地球温暖化対策や気候変動対策を進めるうえで、市が優先的に取り組む必要があると思うもの5つの回答欄に☑をつけてください。

○優先的に取り組む必要がある施策として、「公共交通の利便性向上」(61%)をあげる意見が最も多く、次いで、「森林の適切な整備」(52%)、「再エネ設備の導入・補助」(44%)、「公共施設への再エネ・省エネ導入」(44%)、「学校での環境学習強化」(43%)となっています。

集計結果（単位：人）

設問	選択者数	回答者数
1. 市民に対する地球温暖化対策や気候変動対策に関する広報、情報の発信	377	901
2. 公共施設への再エネ設備・省エネ機器の導入	397	901
3. 公共施設への充電インフラの普及（電気自動車用急速充電器の導入等）	273	901
4. 地球温暖化に関するセミナーや学習会の開催	170	901
5. 学校での地球温暖化に関する環境学習の強化	388	901
6. 脱炭素に熱心に取り組む個人や団体、企業等の認定制度	166	901
7. 太陽光発電や木質バイオマス等の再エネ設備導入の支援・補助	400	901
8. 電気自動車の導入補助	367	901
9. 公共交通の利便性向上	550	901
10. 快適な歩道や自転車道の整備	381	901
11. 大規模開発や建物に対する、省エネ設備導入等の義務付け	232	901
12. 二酸化炭素を吸収する森林の適切な整備（植林・間伐等）	467	901
13. 脱炭素対策にかかわる多様な主体（市、事業者、市民等）の連携	259	901

必要な施策



※グラフは選択者数が多い順番で表示

2-5. 温暖化・気候変動対策の日常生活への影響

地球温暖化対策や気候変動対策の推進は、あなたの日常生活にどのような影響を及ぼすとお考えですか。あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。

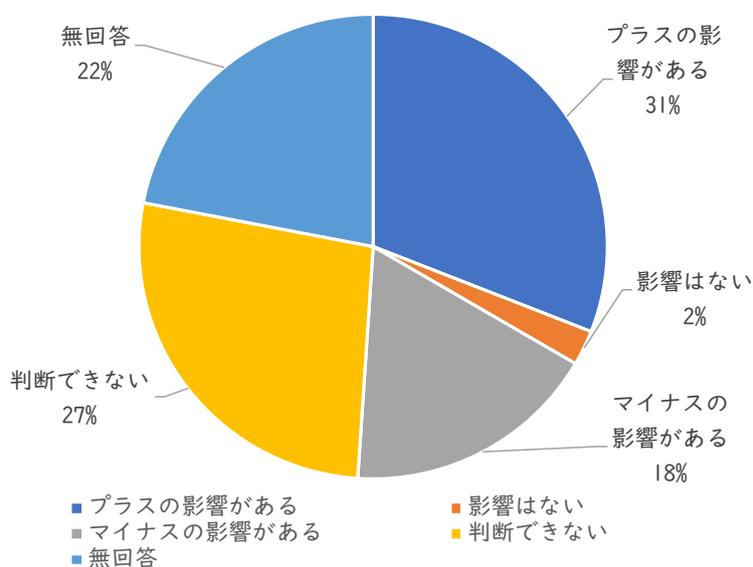
○31%の人が「家庭の省エネ化による経費削減をはじめ、地域課題の解決にもつながる好機と捉え、日常生活にプラスの影響があると考えている」と回答し、「対策費用の発生等、日常生活にマイナスの影響があると考えている」(18%)を上回りました。

○一方、「現段階では情報が不十分であり、日常生活への影響は判断できないと考えている」(27%)と無回答(22%)の合計が半数を占めており、「判断できない」と考えている人が半数を占める可能性があります。

集計結果(単位:人)

プラスの影響	影響ない	マイナスの影響	判断できない	無回答	回答者数
279	22	159	243	198	901

温暖化・気候変動対策による日常生活への影響



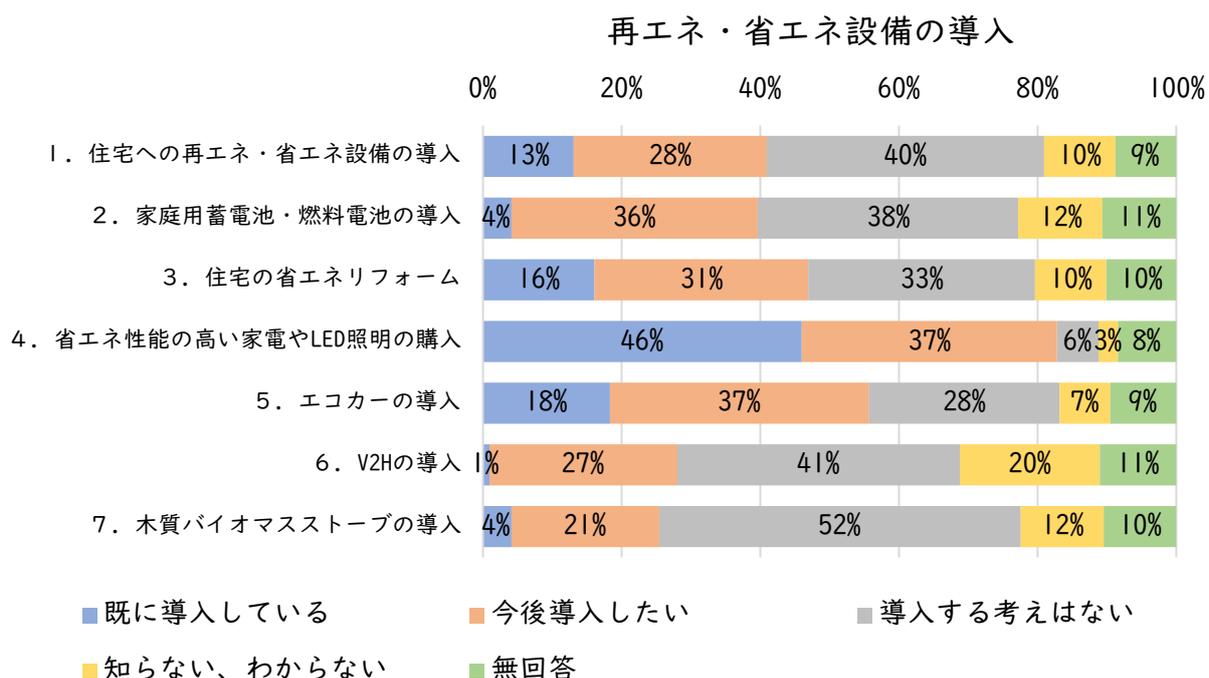
2-6. 再エネ・省エネ設備の導入について

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入について、1 から 6 の項目ごとにあなたの考え方に近いもの 1 つを選び、をつけてください。

- 「省エネ性能の高い家電や LED 照明の購入（買い替え）」は 46%の人が既に実施しており、「今後導入したい」をあわせると 8 割以上の人が導入に意欲的でした。
- 「エコカーの導入」は、「既に実施している」人は 18%ですが、「今後導入したい」をあわせると半数以上の方が導入に意欲的でした。
- 「住宅への再エネ・省エネ設備の導入」「家庭用蓄電池・燃料電池の導入」「住宅の省エネリフォーム」は「既に導入している」「今後導入したい」をあわせて、概ね半数の方が導入に意欲的でした。
- 「V2H」「木質バイオマスストーブ」は既に導入している」「今後導入したい」をあわせて、3 割程度に留まりました。

集計結果（単位：人）

設問	既に導入	今後導入	導入しない	わからない	無回答	回答者数
1. 住宅への再エネ・省エネ設備の導入	119	250	361	92	79	901
2. 家庭用蓄電池・燃料電池（エネファーム）の導入	37	321	339	109	95	901
3. 住宅の省エネリフォーム（高断熱化、高气密化）	146	278	294	93	90	901
4. 省エネ性能の高い家電や LED 照明の購入（買い替え）	415	332	53	26	75	901
5. エコカーの導入（ハイブリッド車、電気自動車等）	165	337	248	66	85	901
6. V2H（EV に蓄えられた電力を家庭用に有効活用するシステム）の導入	8	245	367	182	99	901
7. 木質バイオマスストーブ（薪・ペレットストーブ）の導入	37	192	470	109	93	901



2-7. 再エネ設備の導入について

太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備を導入することをどのように思いますか。あてはまるものを全て選び、回答欄に☑をつけてください。

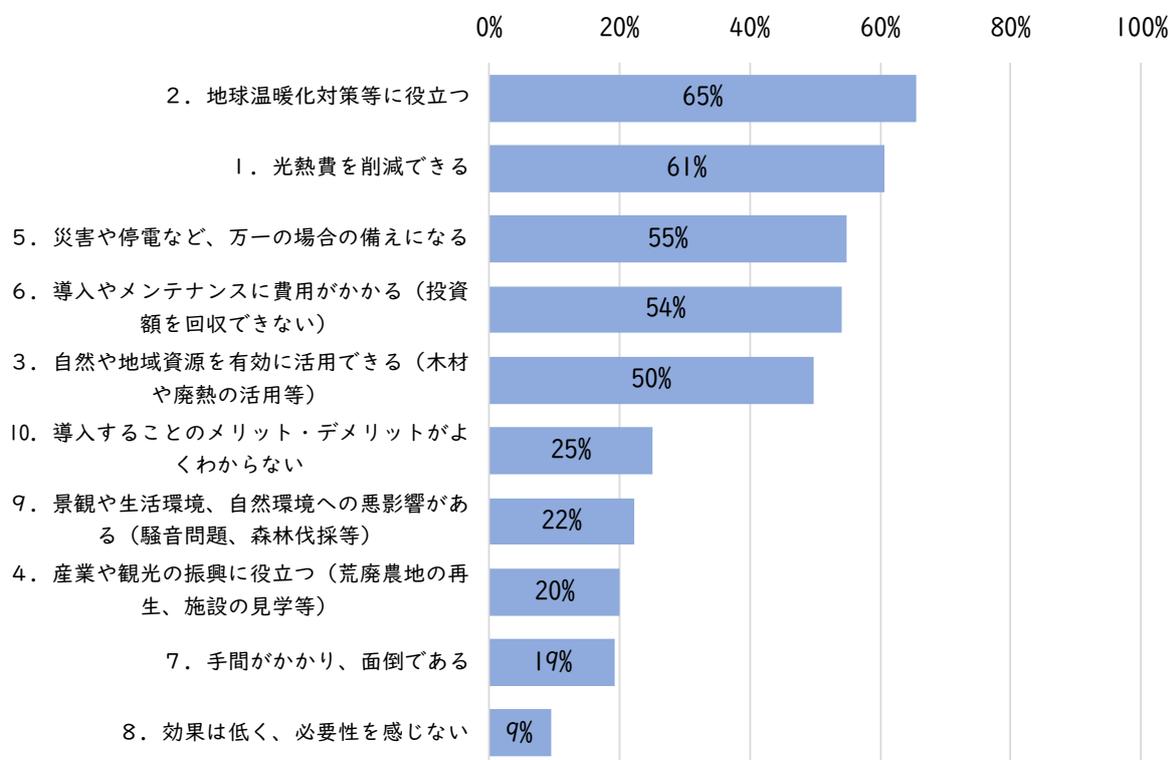
○再エネ設備の導入については、「地球温暖化対策等に役立つ」(65%)、「光熱費を削減できる」(61%)、「災害や停電など、万一の場合の備えになる」(55%)、「自然や地域資源を有効に活用できる」(50%)など、ポジティブな意見が上位を示しました。

○一方、「導入やメンテナンスに費用がかかる」の意見も回答者の半数が選択しました。

集計結果（単位：人）

設問	選択者数	回答者数
1. 光熱費を削減できる	546	901
2. 地球温暖化対策等に役立つ	590	901
3. 自然や地域資源を有効に活用できる（木材や廃熱の活用等）	448	901
4. 産業や観光の振興に役立つ（荒廃農地の再生、施設の見学等）	181	901
5. 災害や停電など、万一の場合の備えになる	494	901
6. 導入やメンテナンスに費用がかかる（投資額を回収できない）	488	901
7. 手間がかかり、面倒である	174	901
8. 効果は低く、必要性を感じない	85	901
9. 景観や生活環境、自然環境への悪影響がある（騒音問題、森林伐採等）	200	901
10. 導入することのメリット・デメリットがよくわからない	226	901

再エネや省エネ設備の導入について



※グラフは選択者数が多い順番で表示

2-8. 木質バイオマス利用を活発にする取組

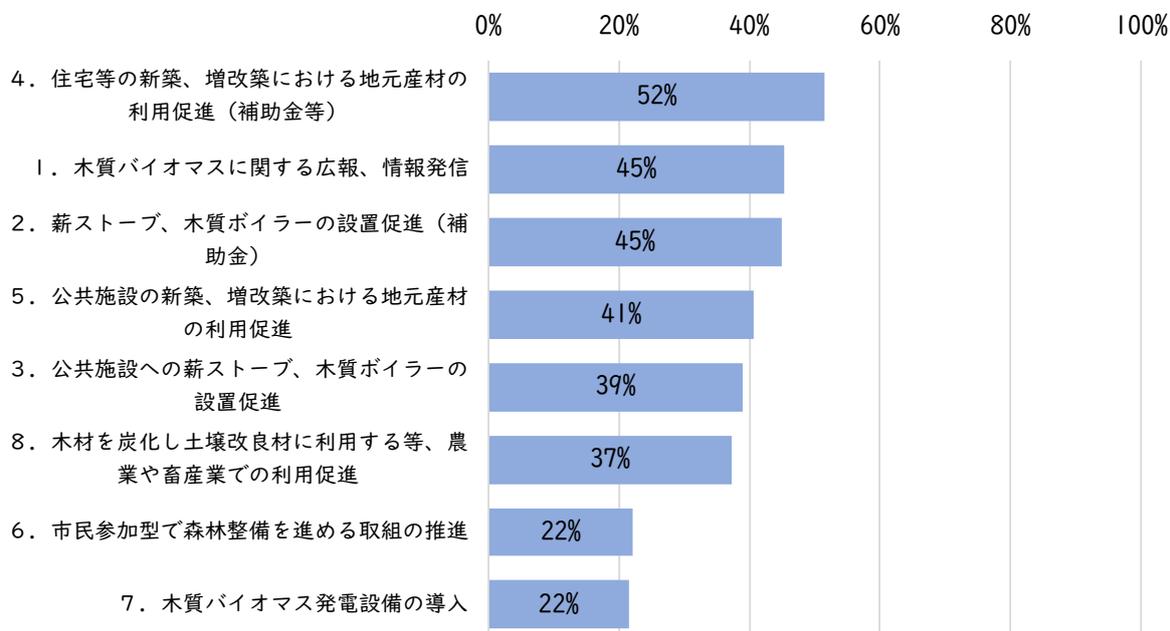
丹波市では、脱炭素に向けた取り組みの一つとして、「薪ストーブ・薪ボイラー設置補助金」など、木質バイオマスの利活用を推進しています。木質バイオマスの利用を更に活発にするには、どのような取り組みが重要だと思いますか。あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑をつけてください。

○木質バイオマス利用を活発化については、補助金等による「住宅等の新築、増改築における地元産材の利用促進」(52%)の意見が最も多く、次いで、「木質バイオマスに関する広報、情報発信」(45%)、「薪ストーブ、木質ボイラーの設置促進(補助金)」(45%)の意見が多くなっています。

集計結果（単位：人）

設問	選択者数	回答者数
1. 木質バイオマスに関する広報、情報発信（普及啓発）	409	901
2. 薪ストーブ、木質ボイラーの設置促進（補助金）	405	901
3. 公共施設への薪ストーブ、木質ボイラーの設置促進	351	901
4. 住宅等の新築、増改築における地元産材の利用促進（補助金等）	465	901
5. 公共施設の新築、増改築における地元産材の利用促進	367	901
6. 市民参加型で森林整備を進める取組（丹波市木の駅プロジェクト）の推進	200	901
7. 木質バイオマス発電設備の導入	194	901
8. 木材を炭化し土壌改良材に利用する等、農業や畜産業での利用促進	336	901

木質バイオマスの利用を活発化について



※グラフは選択者数が多い順番で表示

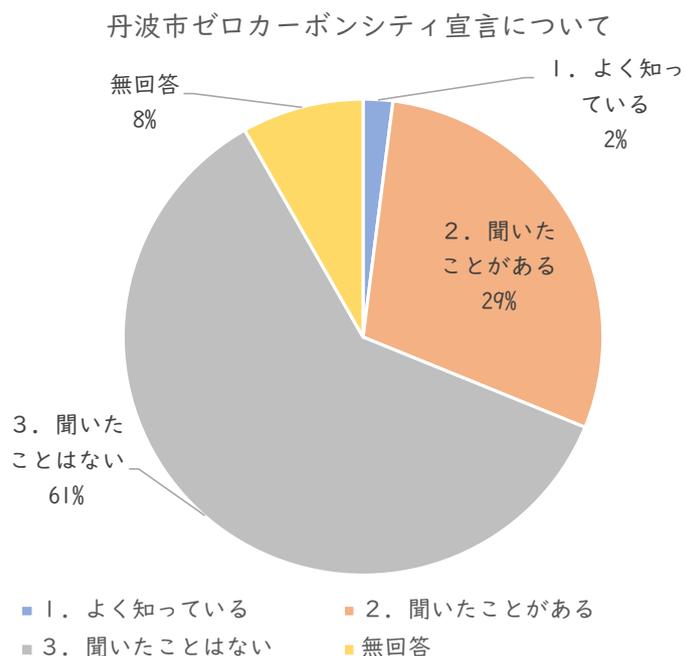
2-9. 丹波市ゼロカーボンシティ宣言について

丹波市は、令和4年12月に丹波市長と丹波市議会議長の連名で、地球規模の課題である気候変動の解決及び脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」について、あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。

○「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を「よく知っている」と答えた人は2%、「聞いたことがある」は29%に留まり、「聞いたことはない」と答えた人が61%を占めました。

集計結果（単位：人）

よく知っている	聞いたことがある	聞いたことはない	無回答	回答者数
18	263	546	74	901



2-10. 丹波市ゼロカーボンアクションについて

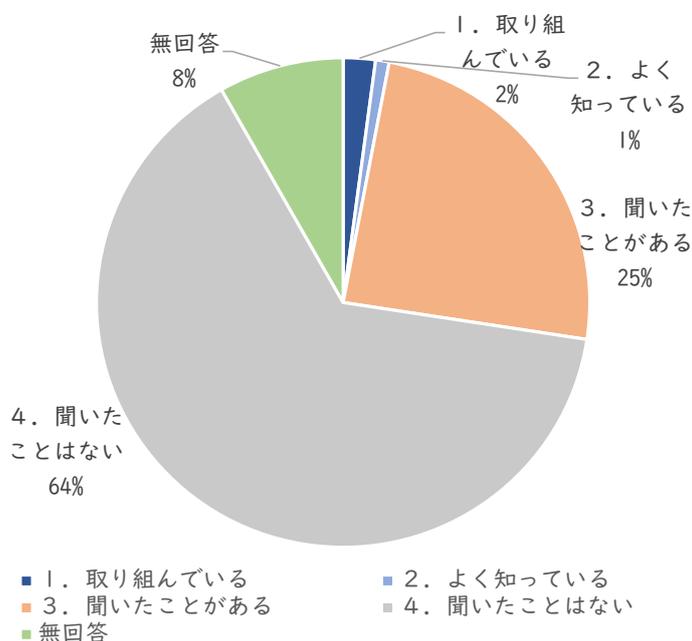
丹波市は、「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」の表明にあたり、日々の生活で取り組めるものを「丹波市ゼロカーボンアクション」としてまとめています。「丹波市ゼロカーボンアクション」について、あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。

- 「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を「取り組んでいる」と答えた人は1%、「よく知っている」と答えた人は2%に留まりました。
- 「聞いたことがある」は25%でした。
- 「聞いたことはない」と答えた人が64%を占めました。

集計結果（単位：人）

取り組んでいる	よく知っている	聞いたことがある	聞いたことはない	無回答	回答者数
19	8	220	580	74	901

丹波市ゼロカーボンアクションについて



2-11. 丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度について

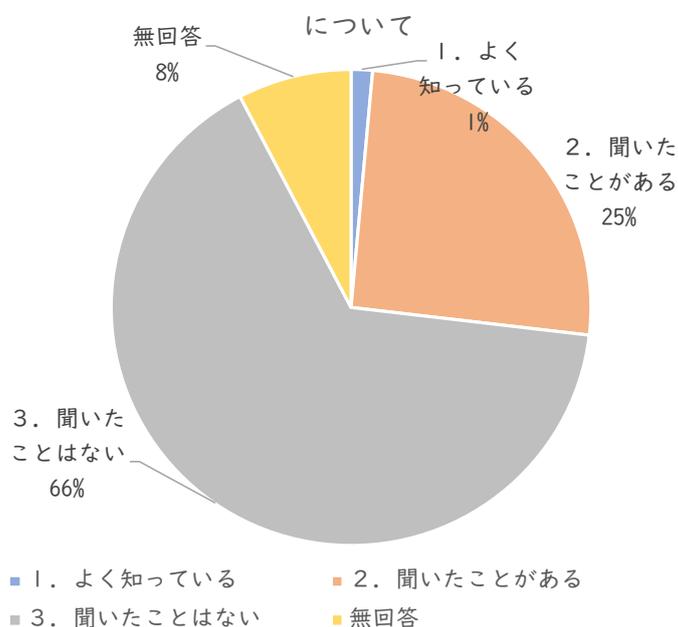
丹波市は、地球温暖化対策の一環として、CO₂排出削減やリサイクル等の推進を目的に「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」を設けています。同制度について、あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。

- 「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」を「よく知っている」と答えた人は1%に留まりました。
- 「聞いたことがある」は25%でした。
- 「聞いたことはない」と答えた人が66%を占めました。

集計結果（単位：人）

よく知っている	聞いたことがある	聞いたことはない	無回答	回答者数
13	229	590	69	901

丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度



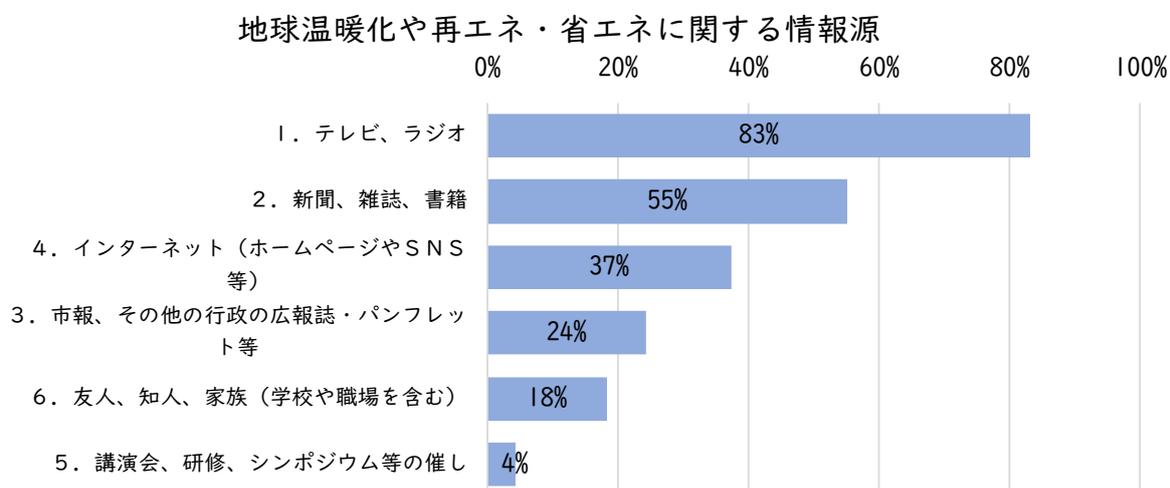
2-12. 地球温暖化や再エネ・省エネに関する情報の情報源

地球温暖化や再エネ・省エネに関する情報をどこから得ていますか。あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑をつけてください。

○地球温暖化や再エネ・省エネの情報源について、最も多かったのは「テレビ、ラジオ」(83%)であり、次いで、「新聞、雑誌、書籍」(55%)となっています。

集計結果 (単位：人)

設問	選択者数	回答者数
1. テレビ、ラジオ	749	901
2. 新聞、雑誌、書籍	497	901
3. 市報、その他の行政の広報誌・パンフレット等	218	901
4. インターネット (ホームページやSNS等)	336	901
5. 講演会、研修、シンポジウム等の催し	38	901
6. 友人、知人、家族 (学校や職場を含む)	165	901



2-13. ゼロカーボンシティの実現に向けた情報

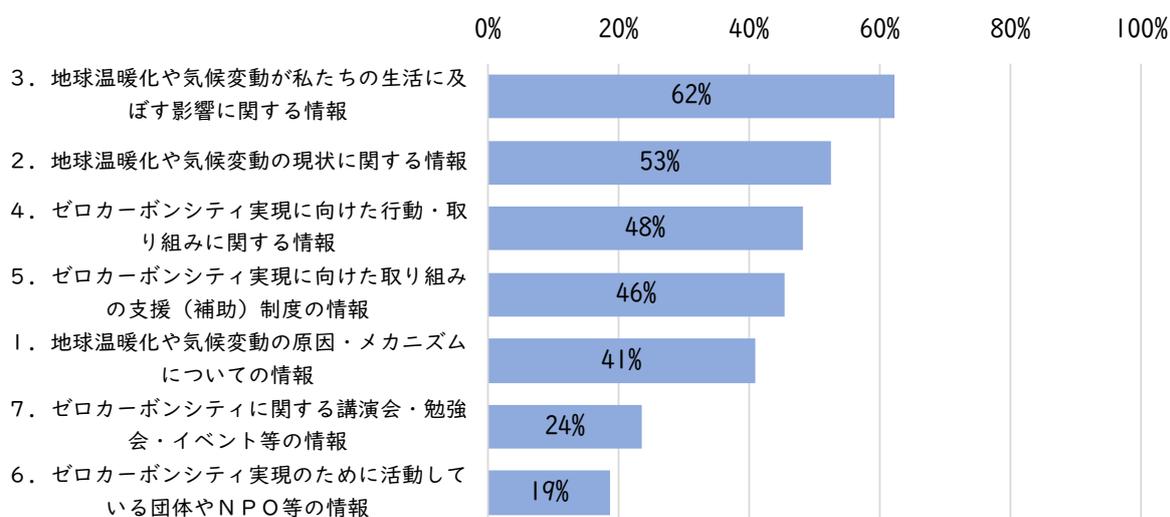
あなたは「ゼロカーボンシティの実現」に向けて取り組みを進めるために、どのような情報が必要ですか。あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑をつけてください。

- ゼロカーボンシティ実現の取組を進めるために必要な情報として、最も必要とされたのは「地球温暖化や気候変動が私たちの生活に及ぼす影響に関する情報」(62%)であり、次いで「地球温暖化や気候変動の現状に関する情報」(53%)となっています。
- 「ゼロカーボンシティ実現に向けた行動・取り組みに関する情報」や「ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みの支援(補助)制度の情報」も半数近い人が必要な情報としました。

集計結果(単位:人)

設問	選択者数	回答者数
1. 地球温暖化や気候変動の原因・メカニズムについての情報	369	901
2. 地球温暖化や気候変動の現状に関する情報	474	901
3. 地球温暖化や気候変動が私たちの生活に及ぼす影響に関する情報	561	901
4. ゼロカーボンシティ実現に向けた行動・取り組みに関する情報	435	901
5. ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みの支援(補助)制度の情報	410	901
6. ゼロカーボンシティ実現のために活動している団体やNPO等の情報	168	901
7. ゼロカーボンシティに関する講演会・勉強会・イベント等の情報	213	901

取組を進めるために、必要な情報



2-14. 自由意見

「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、ご意見やご感想がございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

※整理中

3. 事業者意識調査（単純集計）

3-1. 回答者の属性

業種、従業者数、事業所形態、延床面積、省エネ法上の区分など、回答者（38 事業所）の属性を以下に示します。

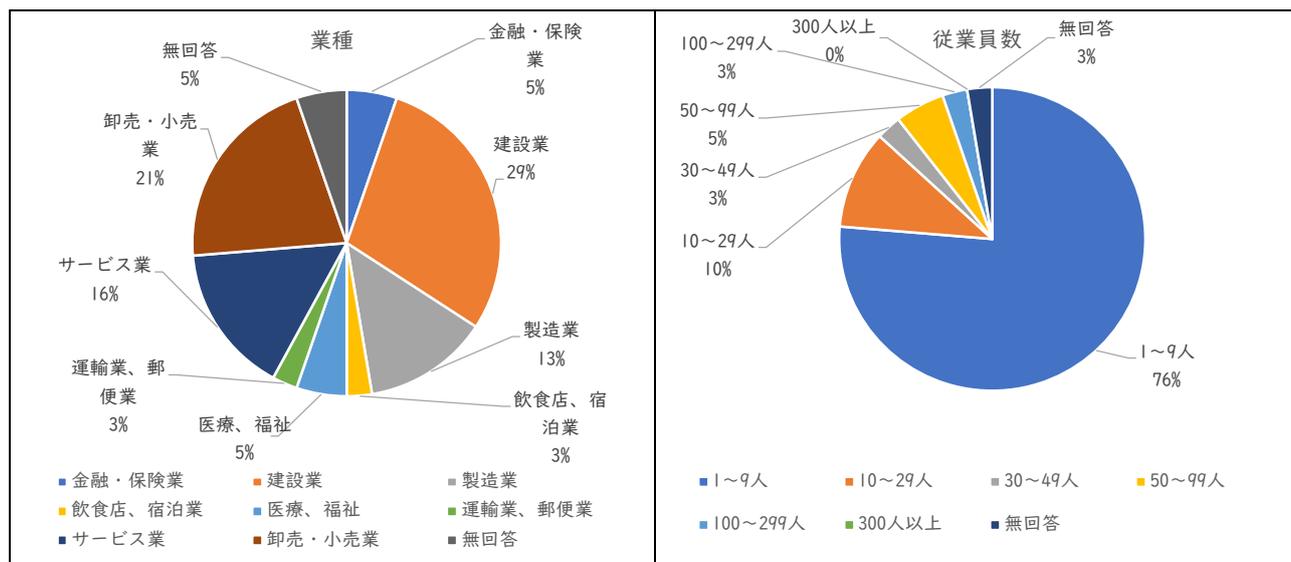
■業種（単位：事業所、%）

区分	農林水産業	金融・保険業	建設業	不動産業、物品賃貸業	製造業	飲食店、宿泊業	電気・ガス・熱・水道業
回答数	0	2	11	0	5	1	0
回答率	—	5%	29%	—	13%	3%	—

区分	医療、福祉	情報通信業	教育、学習支援業	運輸業、郵便業	サービス業	卸売・小売業	その他
回答数	2	0	0	1	6	8	0
回答率	5%	—	—	3%	16%	21%	—

■従業者数（単位：事業所、%）

区分	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答
回答数	29	4	1	2	1	0	1
回答率	76%	11%	3%	5%	3%	0%	3%



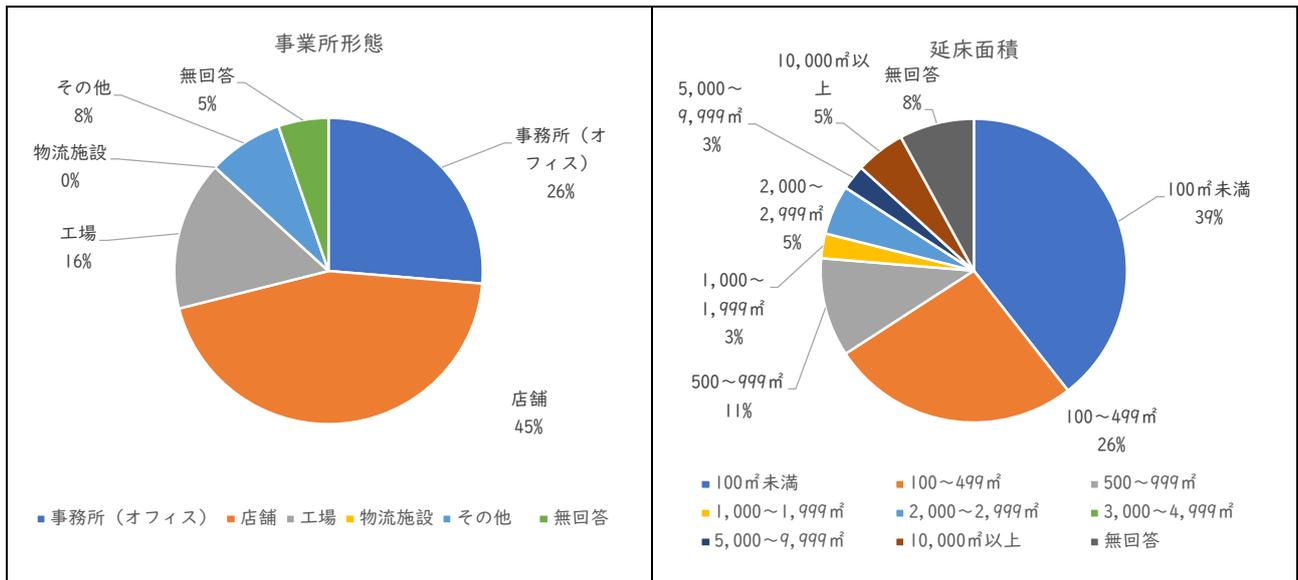
■事業所形態（単位：事業所、%）

区分	事務所(オフィス)	店舗	工場	物流施設	その他	無回答
回答数	10	17	6	0	3	2
回答率	26%	45%	16%	—	8%	5%

■延床面積（単位：事業所、%）

区分	100㎡未満	100～499㎡	500～999㎡	1,000～1,999㎡	2,000～2,999㎡
回答数	15	10	4	1	2
回答率	39%	26%	11%	3%	5%

区分	3,000～4,999㎡	5,000～9,999㎡	10,000㎡以上	無回答
回答数	0	1	2	3
回答率	0%	3%	5%	8%

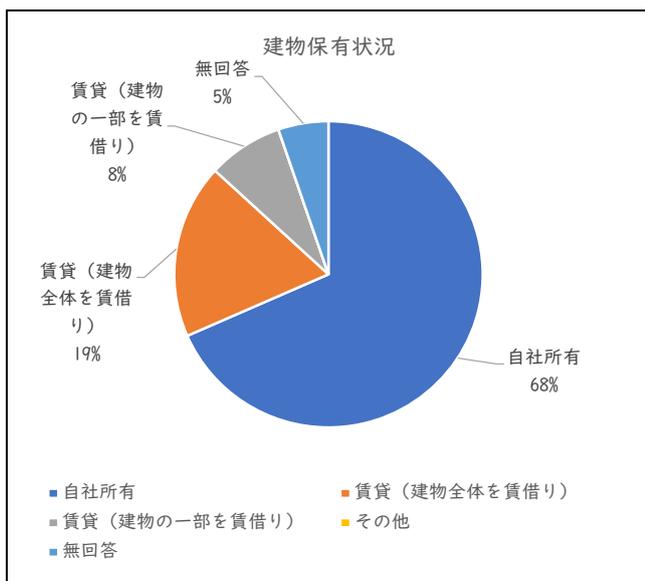


■建物保有状況（単位：事業所、％）

区分	自社所有	賃貸（建物全体を賃借り）	賃貸（建物の一部を賃借り）	その他	無回答
回答数	26	7	3	0	2
回答率	68%	19%	8%	—	5%

■省エネ法における区分（単位：事業所、％）

区分	特定事業者、特定連鎖事業者	認定管理統括事業者（管理関係事業者を含む）	特定貨物輸送事業者、特定旅客輸送事業者又は特定荷主	認定管理統括貨客輸送事業者又は認定管理統括荷主	特定建築物	いずれも該当せず
回答数	2	0	0	0	0	1



3-2. 事業活動での脱炭素行動の取組

脱炭素への取り組みについて、項目ごとに貴事業所の考え方に近いもの1つを選び、をつけてください。

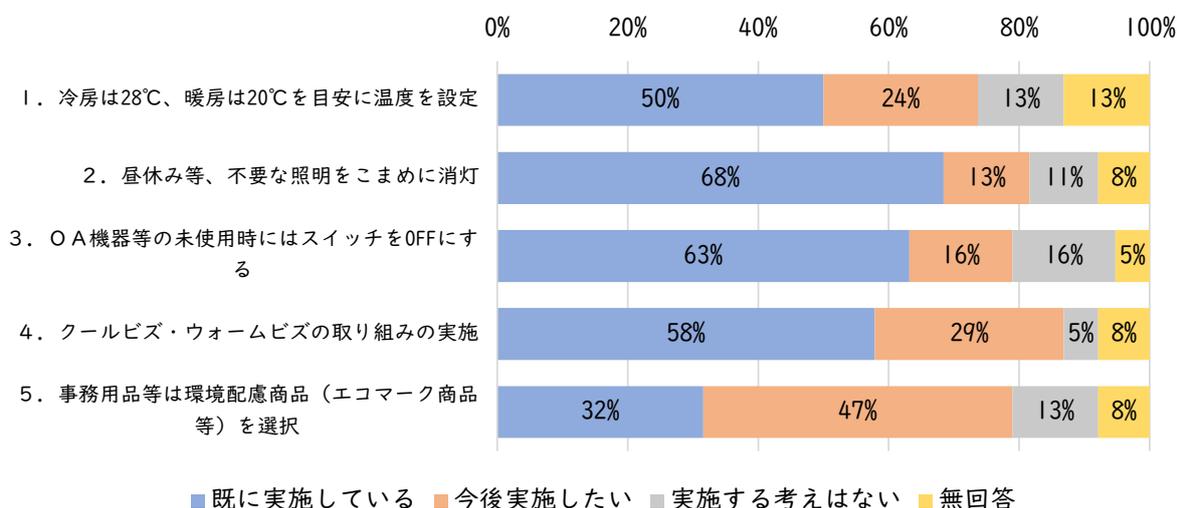
■省エネ行動

- 「昼休み等、不要な照明をこまめに消灯」「OA 機器等の未使用時にはスイッチを OFF にする」は6割以上の事業者が、「クールビズ・ウォームビズの取り組みの実施」は58%の事業者が「既の実施している」と回答し、「今後実施したい」をあわせると約8割の事業者が取組に意欲的でした。
- 「冷房は28℃、暖房は20℃を目安に温度を設定」は、半数が「既の実施している」と回答し、「今後実施したい」をあわせると約7割の事業者が取組に意欲的でした。
- 「事務用品等は環境配慮商品を選択」は「既の実施している」回答は32%ですが、「今後実施したい」をあわせると約8割の事業者が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：事業所）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
1. 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に温度を設定	19	9	5	5	38
2. 昼休み等、不要な照明をこまめに消灯	26	5	4	3	38
3. OA 機器等の未使用時にはスイッチを OFF にする	24	6	6	2	38
4. クールビズ・ウォームビズの取り組みの実施	22	11	2	3	38
5. 事務用品等は環境配慮商品（エコマーク商品等）を選択	12	18	5	3	38

省エネ活動



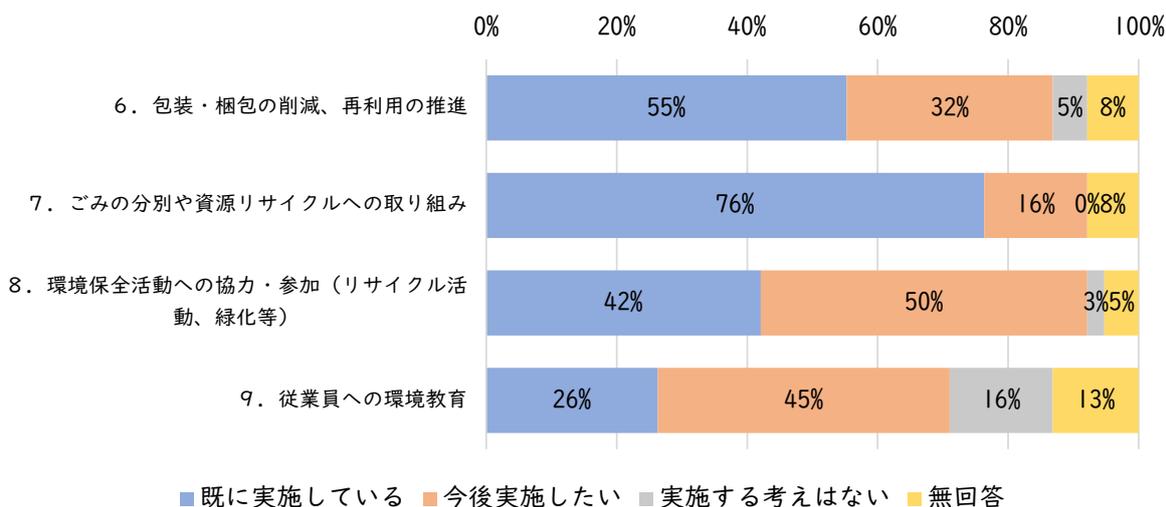
■環境活動

- 「ごみの分別や資源リサイクルへの取り組み」は76%の事業者が「既に実施してる」と回答しており、「今後実施したい」をあわせると9割の事業者が取組に意欲的でした。
- 「包装・梱包の削減、再利用の推進」は、55%の事業者が「既に実施してる」と回答しており、「今後実施したい」をあわせると9割近い事業者が取組に意欲的でした。
- 「環境保全活動への協力・参加」や「従業員への環境教育」は、「今後実施したい」と考える事業者が45~50%と高い水準となっています。

集計結果（単位：事業所）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
6. 包装・梱包の削減、再利用の推進	21	12	2	3	38
7. ごみの分別や資源リサイクルへの取り組み	29	6	0	3	38
8. 環境保全活動への協力・参加（リサイクル活動、緑化等）	16	19	1	2	38
9. 従業員への環境教育	10	17	6	5	38

環境活動



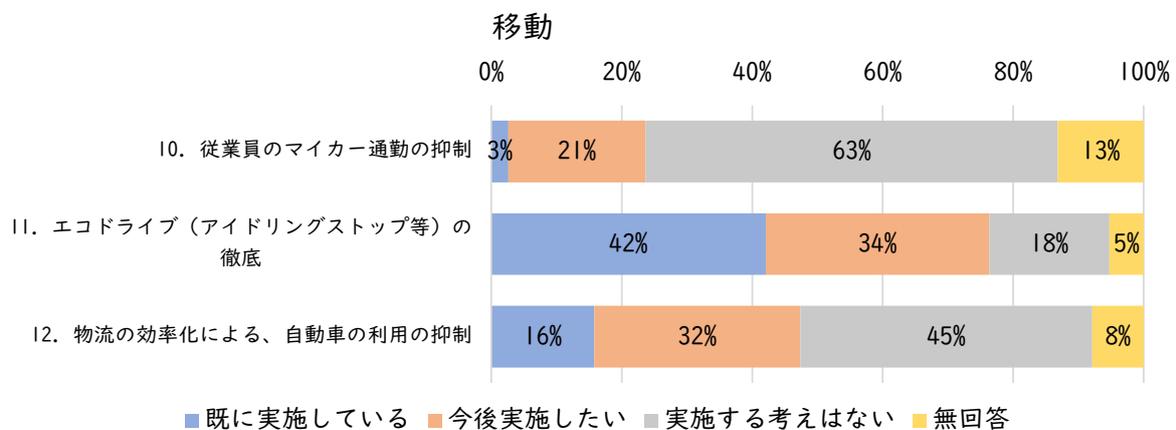
■移動

○「マイカー通勤の抑制」は6割以上の事業者が「実施しない」と回答しています。一方、「自動車利用の抑制」には合計5割近い事業者が「既の実施している」「今後実施したい」と回答しています。

○エコドライブについては、42%の事業者が「既の実施している」と回答しており、「今後実施したい」をあわせると8割近い事業者が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：事業所）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
10. 従業員のマイカー通勤の抑制	1	8	24	5	38
11. エコドライブ（アイドリングストップ等）の徹底	16	13	7	2	38
12. 物流の効率化による、自動車の利用の抑制	6	12	17	3	38

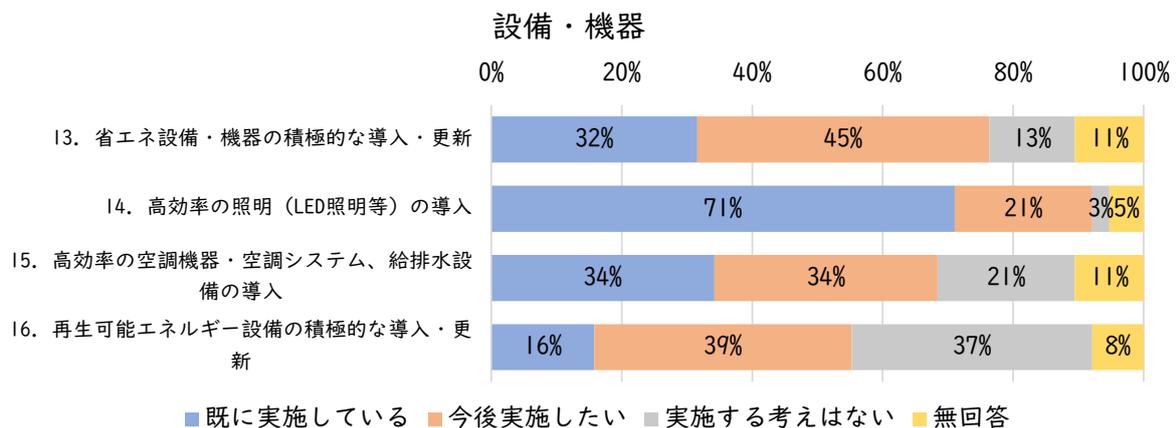


■設備・機器

- 「高効率の照明（LED 照明等）の導入」は 7 割以上の事業者が「既の実施している」と回答し、「今後実施したい」をあわせると 9 割以上の事業者が取組に意欲的でした。
- 「省エネ設備・機器の積極的な導入・更新」「高効率の空調機器・空調システム、給排水設備の導入」は、「既の実施している」と回答している事業者は約 3 割ですが、「今後実施したい」をあわせると概ね 7 割の事業者が取組に意欲的でした。
- 「再生可能エネルギー設備の積極的な導入・更新」は「既の実施している」「今後実施したい」をあわせると 55%の事業者が取組に意欲的でした。

集計結果（単位：事業所）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
13. 省エネ設備・機器の積極的な導入・更新	12	17	5	4	12
14. 高効率の照明（LED 照明等）の導入	27	8	1	2	27
15. 高効率の空調機器・空調システム、給排水設備の導入	13	13	8	4	13
16. 再生可能エネルギー設備の積極的な導入・更新	6	15	14	3	6



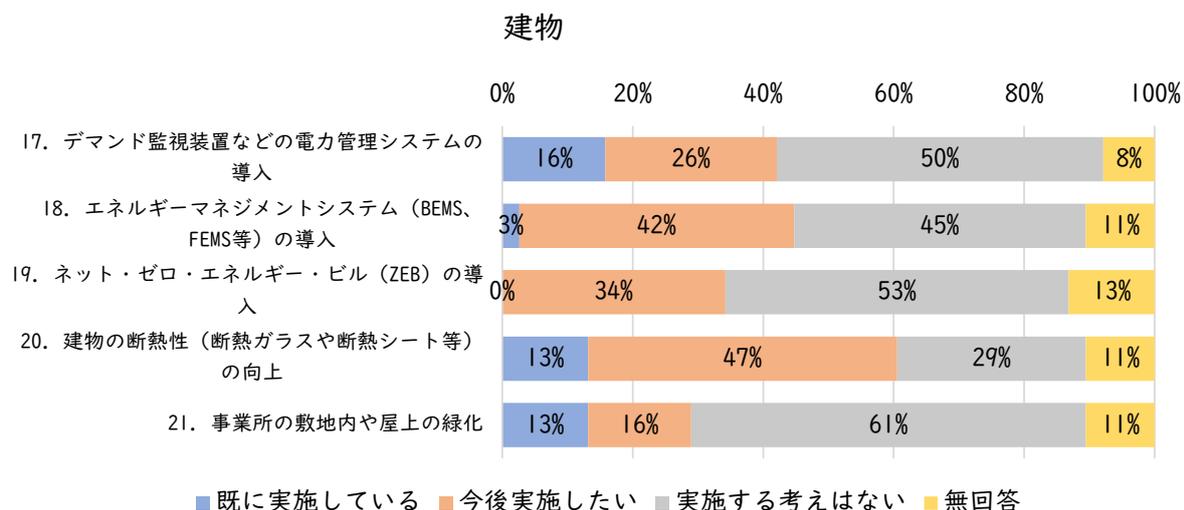
■建物

○建物の取組については、いずれも「既の実施している」は少ないですが、「エネルギー管理システムの導入」「建物の断熱性向上」は4~5割の事業者が「今後実施したい」と回答しました。

○ZEBについても、「既の実施している」事業者はありませんが、約3割の事業者が「今後、実施したい」と回答しました。

集計結果（単位：事業所）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
17. デマンド監視装置などの電力管理システムの導入	6	10	19	3	38
18. エネルギー管理システム（BEMS、FEMS等）の導入	1	16	17	4	38
19. ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の導入	0	13	20	5	38
20. 建物の断熱性（断熱ガラスや断熱シート等）の向上	5	18	11	4	38
21. 事業所の敷地内や屋上の緑化	5	6	23	4	38



■エネルギー管理

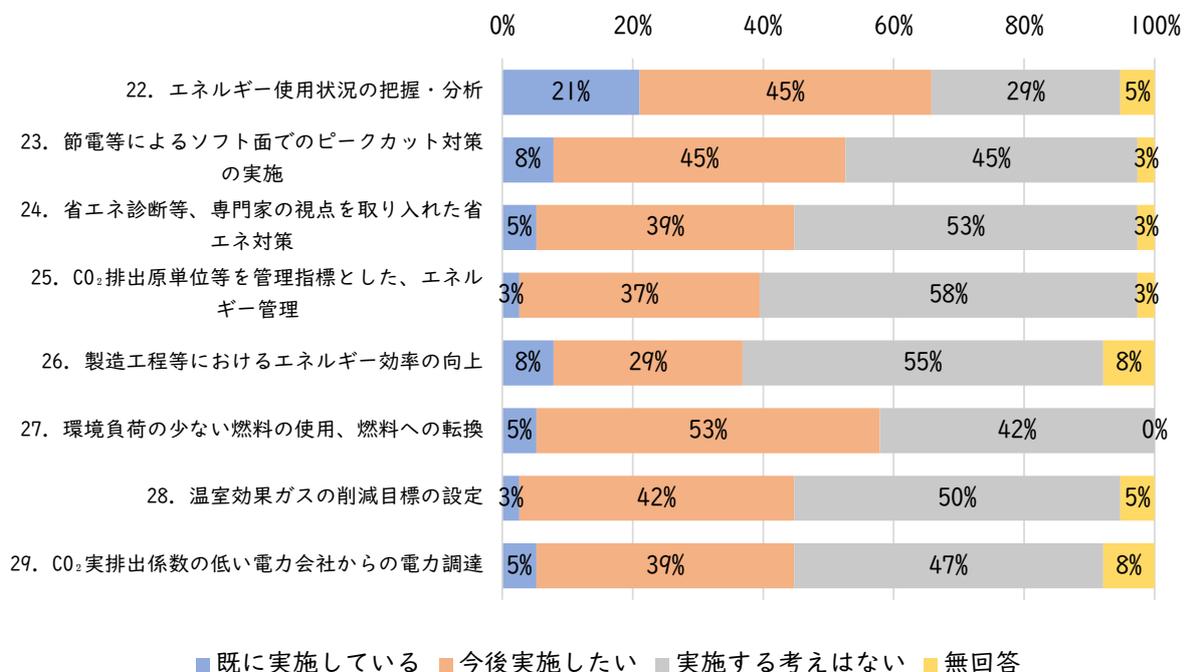
○いずれの取組も「既の実施している」の回答は少ないですが、「エネルギー使用状況の把握・分析」「節電等によるソフト面でのピークカット対策の実施」「環境負荷の少ない燃料の使用、燃料への転換」は概ね 50%の事業者が「今後実施したい」と回答しました。

○その他の取組も「既の実施している」の回答は少ないですが、概ね 4 割近い事業者が「今後実施したい」と回答しました。

集計結果（単位：事業所）

設問	既の実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
22. エネルギー使用状況の把握・分析	8	17	11	2	38
23. 節電等によるソフト面でのピークカット対策の実施	3	17	17	1	38
24. 省エネ診断等、専門家の視点を取り入れた省エネ対策	2	15	20	1	38
25. CO ₂ 排出原単位等を管理指標とした、エネルギー管理	1	14	22	1	38
26. 製造工程等におけるエネルギー効率の向上	3	11	21	3	38
27. 環境負荷の少ない燃料の使用、燃料への転換	2	20	16	0	38
28. 温室効果ガスの削減目標の設定	1	16	19	2	38
29. CO ₂ 実排出係数の低い電力会社からの電力調達	2	15	18	3	38

エネルギー管理



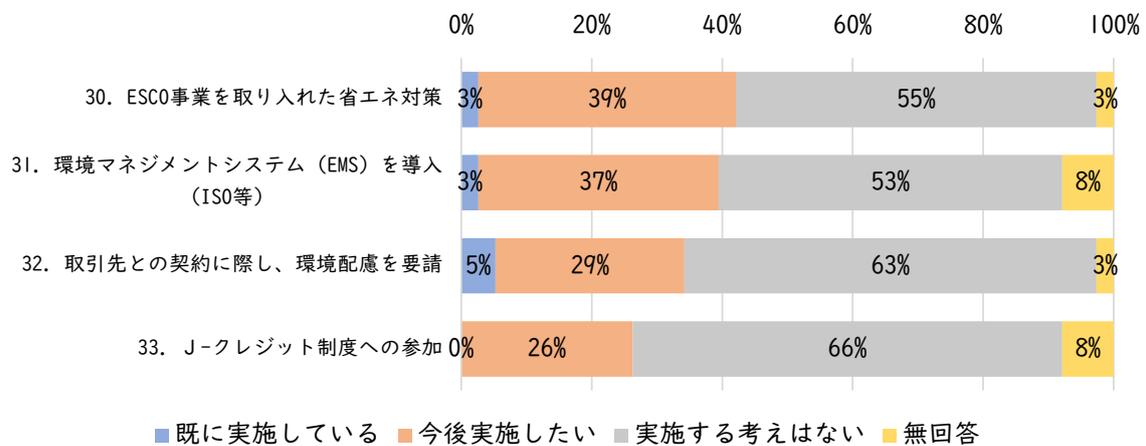
■事業活動

○「ESCO 事業を取り入れた省エネ対策」「EMS 導入」「J-クレジット制度への参加」など、いずれも「実施する考えはない」の回答が半数以上ありました。

集計結果（単位：事業所）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	無回答	回答者数
30. ESCO 事業を取り入れた省エネ対策	1	15	21	1	38
31. 環境マネジメントシステム（EMS）を導入（ISO 等）	1	14	20	3	38
32. 取引先との契約に際し、環境配慮を要請	2	11	24	1	38
33. J-クレジット制度への参加	0	10	25	3	38

事業活動



3-3. 身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響

脱炭素への取り組みについて、項目ごとに貴事業所の考え方に近いもの1つを選び、をつけてください。

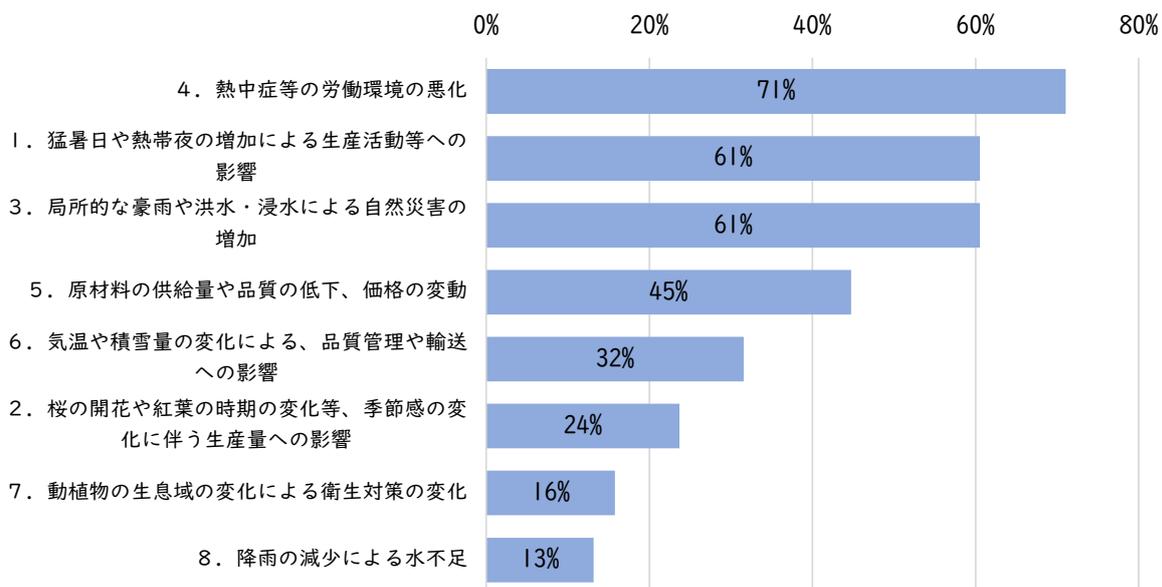
○地球温暖化や気候変動の影響として、「熱中症等の労働環境の悪化」は7割の事業者が感じていると回答しました。

○「猛暑日や熱帯夜の増加による生産活動等への影響」「局所的な豪雨や洪水・浸水による自然災害の増加」についても6割の事業者が感じていると回答しました。

集計結果（単位：事業所）

設問	選択者数	回答者数
1. 猛暑日や熱帯夜の増加による生産活動等への影響	23	38
2. 桜の開花や紅葉の時期の変化等、季節感の変化に伴う生産量への影響	9	38
3. 局所的な豪雨や洪水・浸水による自然災害の増加	23	38
4. 熱中症等の労働環境の悪化	27	38
5. 原材料の供給量や品質の低下、価格の変動	17	38
6. 気温や積雪量の変化による、品質管理や輸送への影響	12	38
7. 動植物の生息域の変化による衛生対策の変化	6	38
8. 降雨の減少による水不足	5	38

身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響



※グラフは選択者数が多い順番で表示

3-4. 温室効果ガス排出量の把握と削減目標の設定

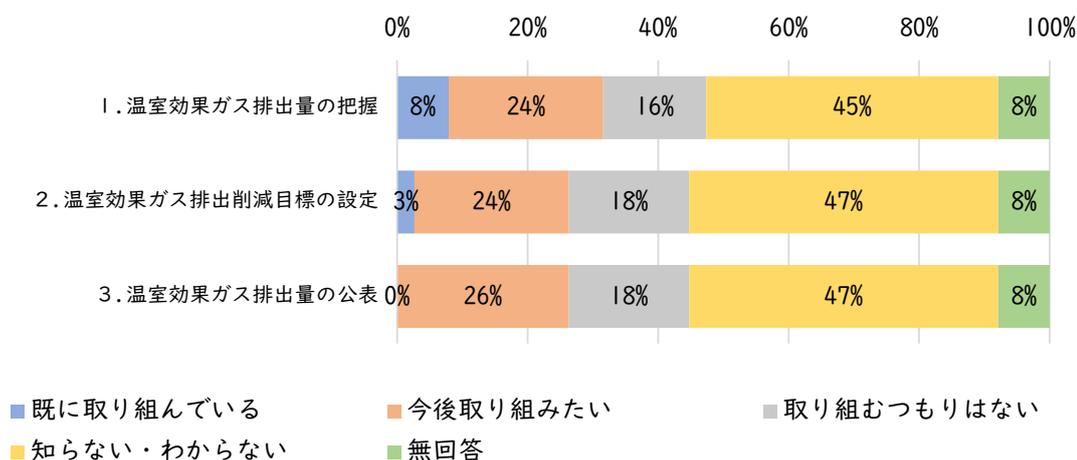
国の計画では「2030年までに、国全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減」する目標を掲げています。貴事業所からの温室効果ガス排出量について、把握・削減目標の設定・公表をされていますか。該当する回答欄に☑をつけてください。

- 「温室効果ガス排出量の把握」「削減目標の設定」「排出量の公表」はいずれも「今後実施したい」と回答した事業者は24～25%に留まります。
- 一方、「取り組むつもりはない」と回答した事業者も16～18%に留まります。
- 「わからない」「無回答」の事業者は、あわせて半数以上となります。

集計結果（単位：事業所）

設問	既に実施	今後実施	実施しない	わからない	無回答	回答者数
1. 温室効果ガス排出量の把握	3	9	6	17	3	38
2. 温室効果ガス排出削減目標の設定	1	9	7	18	3	38
3. 温室効果ガス排出量の公表	0	10	7	18	3	38

温室効果ガス排出量の把握と削減目標の設定



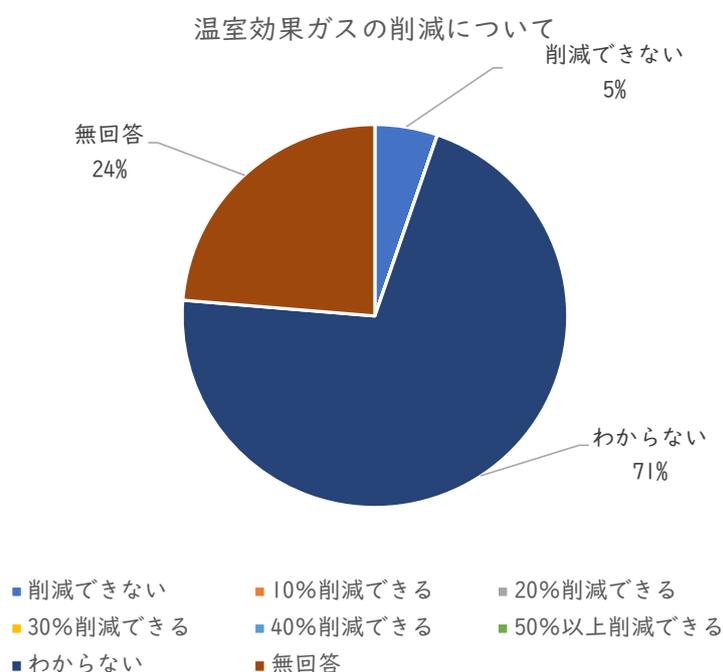
3-5. 2030年までに温室効果ガス排出量をどの程度削減できるか

国の計画では「2030年までに、国全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減」する目標を掲げています。貴事業所からの温室効果ガス排出量について、把握・削減目標の設定・公表をされていますか。該当する回答欄に☑をつけてください。

○2030年度までにどれだけ温室効果ガス排出量を削減できるかについては、71%の事業者が「わからない」と回答し、無回答の事業者(24%)を含めると、95%の事業者が「わからない・不明」との結果でした。

集計結果（単位：事業所）

区分	削減できない	10%削減できる	20%削減できる	30%削減できる	40%削減できる	50%以上削減できる	わからない	無回答
回答数	2	0	0	0	0	0	27	9
回答率	5%	—	—	—	—	—	71%	24%



3-6. 事業活動におけるエネルギー使用状況の把握

貴事業所では、事業活動に伴うエネルギー使用量等について、把握していますか。項目ごとに該当する回答欄に☑をつけてください。

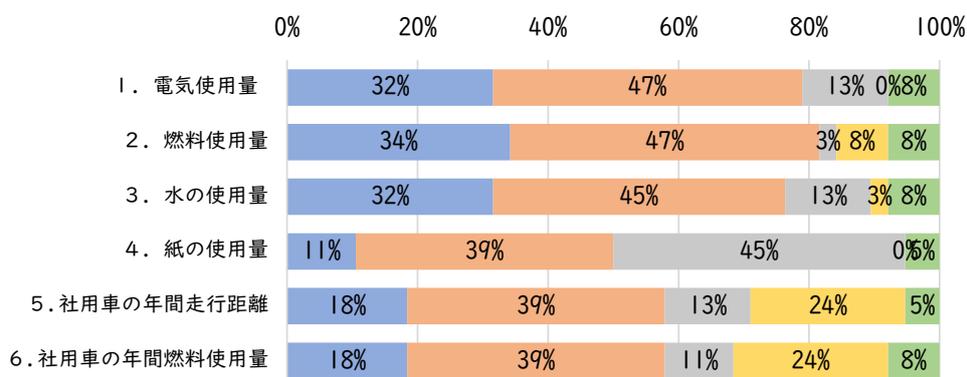
○「電気使用量」「燃料使用量」「水の使用量」は、「詳細を把握している」「概数で把握している」の合計で、概ね8割の事業者が把握していると回答しました。

○社用車については、「詳細を把握している」「概数で把握している」の合計で57%の事業者が年間走行距離、年間燃料使用量を把握していると回答しました。

集計結果（単位：事業所）

設問	詳細を把握している	概数では把握している	把握していない	使用していない	無回答	回答者数
1. 電気使用量	12	18	5	0	3	38
2. 燃料（ガソリン、軽油、灯油、LPG、重油等）使用量	13	18	1	3	3	38
3. 水の使用量	12	17	5	1	3	38
4. 紙の使用量	4	15	17	0	2	38
5. 社用車の年間走行距離	7	15	5	9	2	38
6. 社用車の年間燃料使用量	7	15	4	9	3	38

事業活動におけるエネルギー使用状況の把握



■ 既に組み立てている ■ 概数では把握している ■ 把握していない ■ 使用していない ■ 無回答

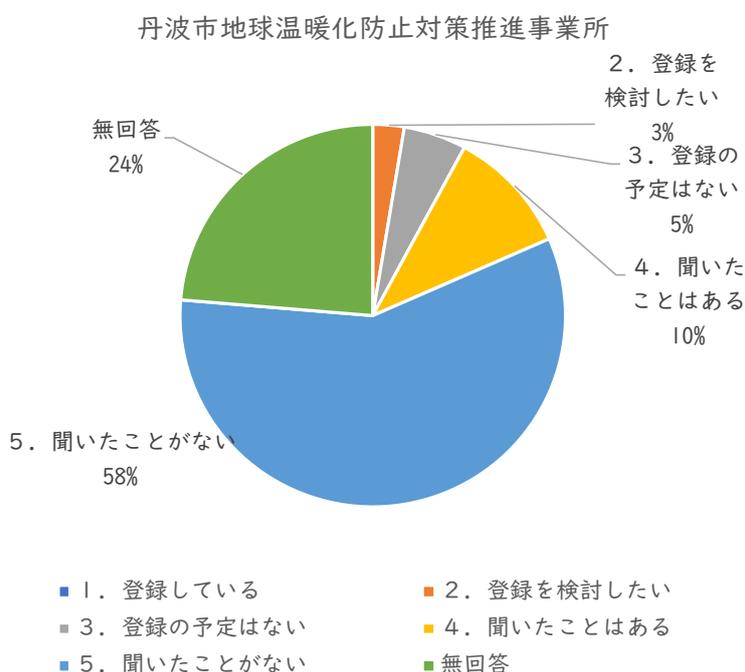
3-7. 丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度

丹波市は、地球温暖化対策の一環として、CO₂排出削減やリサイクル等の推進を目的に「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」を設けています。同制度について、貴事業所のお考えをお教えてください。該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

○「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」については、58%の事業者が「聞いたことがない」と回答しました。

集計結果（単位：事業所）

登録している	認証制度を知っており、登録を検討したい	認証制度を知っているが、登録の予定はない	認証制度について、聞いたことはある	認証制度について聞いたことがない	無回答
0	1	2	4	22	9



3-8. 事業活動への影響

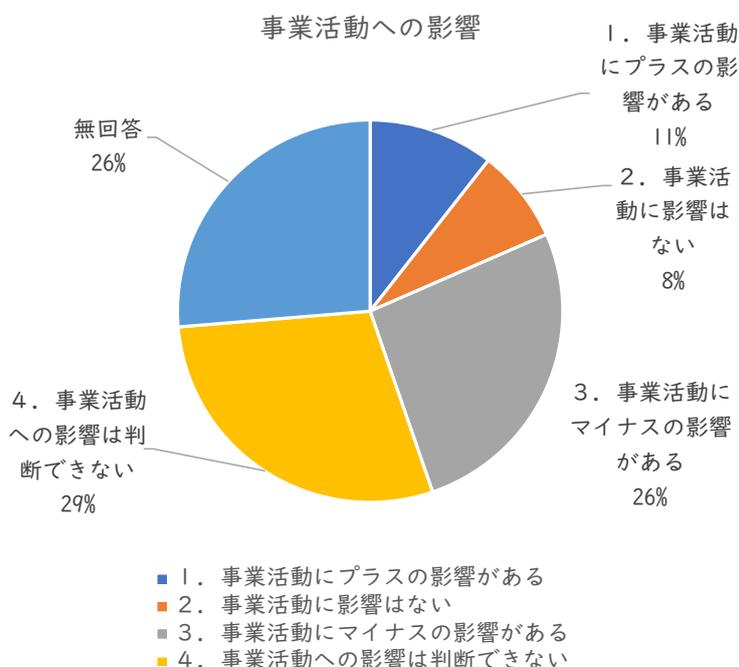
地球温暖化や気候変動は、貴事業所の事業活動にどのような影響を及ぼすとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

○地球温暖化や気候変動が事業活動にどのような影響を及ぼすかについては、「マイナスの影響がある」と答えた事業者が26%あります。

○「判断できない」(29%)、「無回答」(26%)をあわせると、半数以上となります。

集計結果 (単位：人)

1. ビジネスチャンスの一つと捉え、事業活動にプラスの影響があると考えている	2. プラス要因、マイナス要因はなく、事業活動に影響はないと考えている	3. 地球温暖化対策費用の発生等、事業活動にマイナスの影響があると考えている	4. 現段階では情報が不十分であり、事業活動への影響は判断できないと考えている	無回答
4	3	10	11	10



3-9. 市が優先的に取り組む必要がある施策

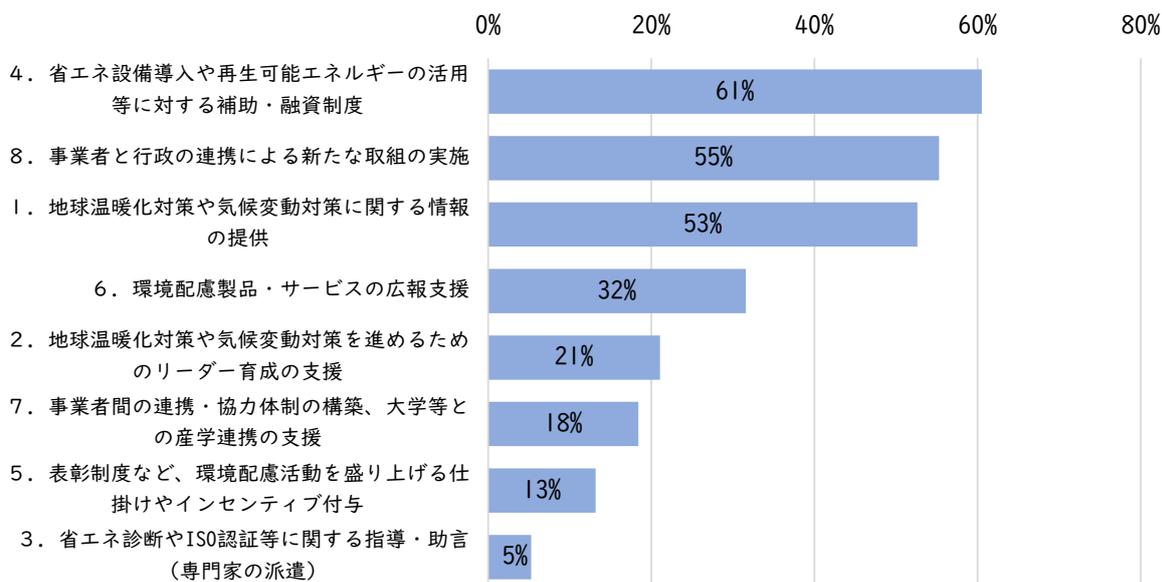
貴事業所が地球温暖化対策や気候変動対策を進めていくうえで、市が優先的に取り組む必要があると思うもの3つの回答欄に☑をつけてください。

○市が優先的に取り組む必要がある施策としては、「省エネ設備導入や再生可能エネルギーの活用等に対する補助・融資制度」が61%と最も回答が多く、次いで、「事業者と行政の連携による新たな取組の実施」「地球温暖化対策や気候変動対策に関する情報の提供」を望む意見がそれぞれ半数を上回りました。

集計結果（単位：者）

設問	選択者数	回答者数
1. 地球温暖化対策や気候変動対策に関する情報の提供	20	38
2. 地球温暖化対策や気候変動対策を進めるためのリーダー育成の支援	8	38
3. 省エネ診断やISO認証等に関する指導・助言（専門家の派遣）	2	38
4. 省エネ設備導入や再生可能エネルギーの活用等に対する補助・融資制度	23	38
5. 表彰制度など、環境配慮活動を盛り上げる仕掛けやインセンティブ付与	5	38
6. 環境配慮製品・サービスの広報支援	12	38
7. 事業者間の連携・協力体制の構築、大学等との産学連携の支援	7	38
8. 事業者と行政の連携による新たな取組の実施	21	38

市が優先的に取り組む必要がある施策



3-10. 再エネ・省エネ設備の導入について

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備を導入等、地球温暖化対策や気候変動対策について、どのようにお考えですか。あてはまるものを全て選び、回答欄に☑をつけてください。

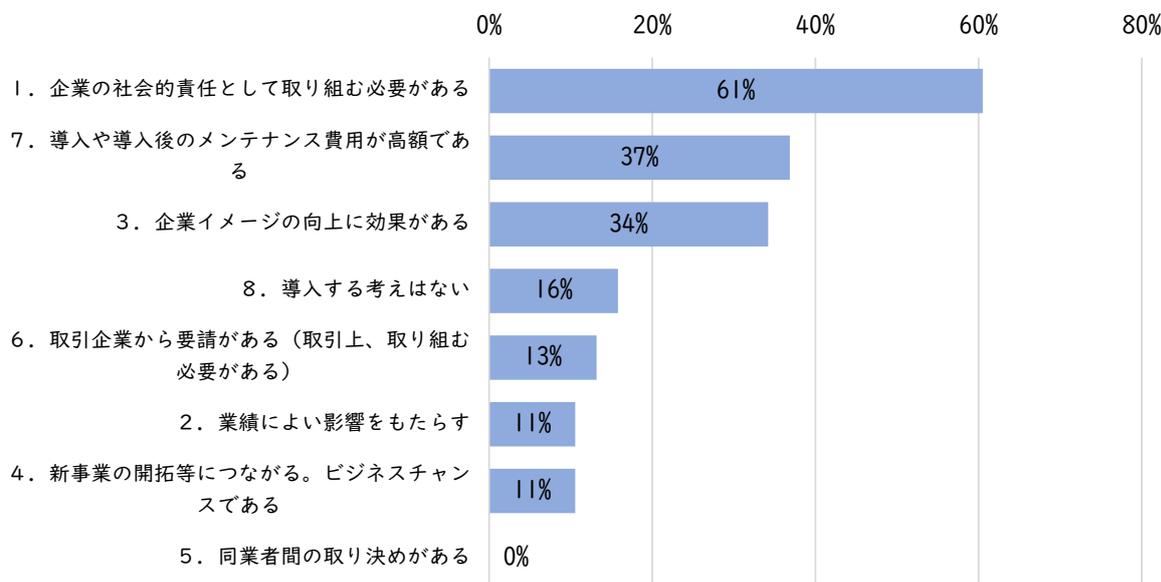
○再エネ・省エネ設備などの地球温暖化対策については、6割以上の事業者が「企業の社会的責任として取り組む必要がある」をあげています。

○「企業イメージの向上に効果がある」の意見が3割ある一方、「導入や導入後のメンテナンス費用が高額である」との意見が4割近くありました。

集計結果（単位：者）

設問	選択者数	回答者数
1. 企業の社会的責任として取り組む必要がある	23	38
2. 業績により影響をもたらす	4	38
3. 企業イメージの向上に効果がある	13	38
4. 新事業の開拓等につながる。ビジネスチャンスである	4	38
5. 同業者間の取り決めがある	0	38
6. 取引企業から要請がある（取引上、取り組む必要がある）	5	38
7. 導入や導入後のメンテナンス費用が高額である	14	38
8. 導入する考えはない	6	38

省エネ・再エネ設備の導入について



3-11. 再生可能エネルギーと省エネルギー設備の導入可能性について

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入について、項目ごとに貴事業所の考え方に近いもの1つを選び、をつけてください。

○「次世代自動車の導入」は「既に導入している」「今後、導入したい」で70%を越えました。

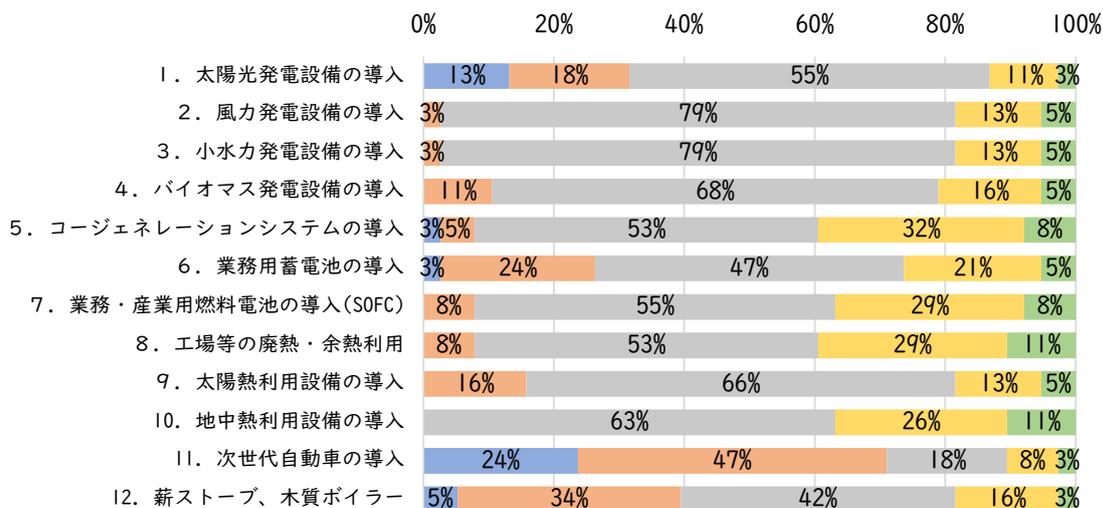
○その他の再エネ・省エネ設備は、「導入する考えはない」の回答が半数以上となりました。

○太陽光発電設備と蓄電池は「既に導入してる」「今後、導入したい」の合計が約3割、「薪ストーブ、木質ボイラー」は約4割となっています。

集計結果（単位：者）

設問	既に導入している	今度、導入したい	導入する考えはない	分からない	無回答	回答者数
1. 太陽光発電設備の導入	5	7	21	4	1	38
2. 風力発電設備の導入	0	1	30	5	2	38
3. 小水力発電設備の導入	0	1	30	5	2	38
4. バイオマス発電設備の導入	0	4	26	6	2	38
5. コージェネレーションシステムの導入	1	2	20	12	3	38
6. 業務用蓄電池の導入	1	9	18	8	2	38
7. 業務・産業用燃料電池の導入(SOFC)	0	3	21	11	3	38
8. 工場等の廃熱・余熱利用	0	3	20	11	4	38
9. 太陽熱利用設備（屋根置き の温水器等）の導入	0	6	25	5	2	38
10. 地中熱利用設備の導入	0	0	24	10	4	38
11. 次世代自動車（ハイブリッド 車や電気自動車等）の導入	9	18	7	3	1	38
12. 薪ストーブ、木質ボイラー（薪 ボイラー、チップボイラー）	2	13	16	6	1	38

再エネ・省エネ設備の導入可能性



■ 既に導入している ■ 今後、導入したい ■ 導入する考えはない ■ 知らない、わからない ■ 無回答

3-12. 自由意見

「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、ご意見やご感想がございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

※整理中

資料編

ゼロカーボンシティの実現に向けた丹波市地球温暖化対策実行計画

策定のための市民アンケート調査のお願い

令和5年10月

日ごろから市の環境行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

丹波市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」^{注)}を表明しています。ゼロカーボンシティの実現には、市民・事業者・行政が連携・協働しながら、再生可能エネルギーの導入や気候変動対策を推進する必要があります。そこで、ゼロカーボンシティ実現を目指した計画として、「丹波市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた検討を進めており、市民のみなさまのご意見やお考えを計画に反映するため、市民意識調査を実施します。

ご多忙のところお手数をおかけしますが、調査にご協力いただきますよう、よろしく
お願いいたします。 丹波市

注)「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」の内容については、右のQRコードから
丹波市ホームページにアクセスいただけます。



【ご記入にあたって】

- 本アンケートは、令和5年9月末現在で 15歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出し、送付しています。
- 調査精度を確保するため、封筒の宛名のご本人さまがご回答いただきますよう、お願いいたします。
- 回答内容は統計的に処理され、回答者が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することも一切ございません。

【ご返送にあたって】

- 記入済みのアンケート用紙は同封の返信用封筒に入れ、
令和5年 11月6日（月）まで に郵便ポストへご投函ください。
- 返信用切手は不要です。また、封筒に住所・氏名等の記入は不要です。

アンケート調査についての不明な点やご質問は、下記までお問い合わせ下さい。

調査主体：丹波市 生活環境部 環境課

電話：0795（82）1290（直通） 土曜・日曜・祝日を除く平日

FAX：0795（82）1821 8：30～17：15

日常生活における脱炭素行動について

問1 脱炭素社会の実現には一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。環境省が公表している脱炭素な暮らし方「ゼロカーボンアクション30」^{注1)}について、**項目ごとにあなたの考え方に近いもの1つを選び、☑をつけてください。**

注1) 「ゼロカーボンアクション30」の内容については、右のQRコードから環境省ホームページにアクセスいただけます。



脱炭素な暮らし方 「ゼロカーボンアクション30」		既に実施 している	今後実施 したい	実施する 考えはない
エネルギーの節約・転換	1. 家庭の電気を再エネ電気に切り替える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. クールビズ・ウォームビズを実践する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 節電を心掛ける（こまめなスイッチオフや待機電力の削減）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 節水を心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 家電や照明を買い替える際、省エネ家電やLED照明を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6. 宅配は、日時指定や置き配等により1回の配達で荷物を受け取る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7. 電力使用量がわかるようスマートメーター*1やHEMS*2(エネルギー節約機器)を導入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅	8. 住居に太陽光発電パネルを設置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9. 自宅を購入・新築する時、ZEH*3(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10. 自宅で省エネリフォーム（窓や壁等の断熱等）を実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11. 自宅に蓄電池（車載の蓄電池含む）や燃料電池システム（エネファーム等）を導入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12. 暮らしの中で、木材を積極的に使用する（住宅の内装、外装やインテリア）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13. 住まいを探す時は、住宅の省エネルギー性能も検討材料にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14. テレワークやオンライン会議の利用等、働き方を工夫する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
移動	15. スマートムーブ（自転車や公共交通等、自動車以外で移動）を心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16. 再エネ電力と電気自動車等でゼロカーボン・ドライブ（CO ₂ 排出量ゼロ運転）を実践する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

脱炭素な暮らし方 「ゼロカーボンアクション30」		既に実施 している	今後実施 したい	実施する 考えはない
食品	17. 食事の食べ残しをしないよう心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	18. 食品ロス削減の工夫（食べきれぬ量を買う、保存方法を工夫等）を心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	19. 旬の食材、地元食材を使用した食生活（地産地消）を心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	20. 生ごみを燃やすごみとせず、コンポスト等で堆肥化する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
衣類	21. 今持っている服を長く大切に着るよう心掛ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	22. 衣類を購入する時は、長く着られる服を選択する（先のことを考えて買う）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	23. 衣類を購入する時は、環境に配慮した素材（リサイクルポリエステル等）で製造されたものを選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サービス・ 環境活動	24. マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	25. 壊れたものや古くなったものを修理、補修して使用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	26. フリーマーケットやシェアリング（場所や商品の共有）、サブスクリプション（定額料金による一定期間のサービス・コンテンツ利用）等を活用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	27. ごみの分別処理を実践する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	28. 商品を購入する際、環境配慮マークや脱炭素型の製品（エコカーや省エネ家電等）を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	29. 投資を行う時は、脱炭素経営に取り組む企業を重視するなど、ESG投資*4を行う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	30. 植林やごみ拾い等の活動に参加する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*1 スマートメーター：電力使用量をデジタルで計測する電力量計（電力メーター）のこと。

*2 HEMS：家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面等で「見える化」し、家電機器を「自動制御」することでエネルギーを無駄なく賢く使う。

*3 ZEH：年間のエネルギー消費量の収支をゼロ以下とすることを目指した住宅のこと。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーを作ることでエネルギー消費量を正味でゼロにする。

*4 ESG投資：環境（気候変動、生物多様性、廃棄物処理等）、社会（労務管理、地域社会、人権問題等）、ガバナンス（経営体制、情報開示等）に配慮した経営を行う企業に投資すること。

地球温暖化や気候変動対策について

問2 あなたの身の回りで、どのような地球温暖化や気候変動の影響を感じますか。**あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑**をつけてください。

身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響	回答欄
1. 猛暑日や熱帯夜の増加	<input type="checkbox"/>
2. 局所的な豪雨や洪水・浸水による自然災害の増加	<input type="checkbox"/>
3. 降雨の減少による水不足	<input type="checkbox"/>
4. 農作物の収穫量や品質の低下、価格の変動	<input type="checkbox"/>
5. 気温や積雪量の変化による、レジャー（海水浴やスキー等）への影響	<input type="checkbox"/>
6. 熱中症などの健康被害の増加	<input type="checkbox"/>
7. 桜の開花や紅葉の時期の変化など、季節感の変化	<input type="checkbox"/>
8. 動植物の生息域の変化（見慣れない動植物を見かけるようになった等）	<input type="checkbox"/>

問3 地球温暖化対策や気候変動対策を進めるうえで、**市が優先的に取り組む必要があると思うもの5つの回答欄に☑**をつけてください。

地球温暖化対策や気候変動対策を進めていく上で必要な市の施策	回答欄
1. 市民に対する地球温暖化対策や気候変動対策に関する広報、情報の発信	<input type="checkbox"/>
2. 公共施設への再エネ設備・省エネ機器の導入	<input type="checkbox"/>
3. 公共施設への充電インフラの普及（電気自動車用急速充電器の導入等）	<input type="checkbox"/>
4. 地球温暖化に関するセミナーや学習会の開催	<input type="checkbox"/>
5. 学校での地球温暖化に関する環境学習の強化	<input type="checkbox"/>
6. 脱炭素に熱心に取り組む個人や団体、企業等の認定制度	<input type="checkbox"/>
7. 太陽光発電や木質バイオマス等の再エネ設備導入の支援・補助	<input type="checkbox"/>
8. 電気自動車の導入補助	<input type="checkbox"/>
9. 公共交通の利便性向上	<input type="checkbox"/>
10. 快適な歩道や自転車道の整備	<input type="checkbox"/>
11. 大規模開発や建物に対する、省エネ設備導入等の義務付け	<input type="checkbox"/>
12. 二酸化炭素を吸収する森林の適切な整備（植林・間伐等）	<input type="checkbox"/>
13. 脱炭素対策にかかわる多様な主体（市、事業者、市民等）の連携	<input type="checkbox"/>

問4 地球温暖化対策や気候変動対策の推進は、あなたの日常生活にどのような影響を及ぼすとお考えですか。 **あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。**

1. 家庭の省エネ化による経費削減をはじめ、地域課題の解決にもつながる好機と捉え、日常生活にプラスの影響があると考えている
2. プラス要因、マイナス要因はなく、日常生活に影響はないと考えている
3. 対策費用の発生等、日常生活にマイナスの影響があると考えている
4. 現段階では情報が不十分であり、日常生活への影響は判断できないと考えている

再生可能エネルギーと省エネルギー設備の導入について

問5 再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入について、1 から 6 の項目ごとに **あなたの考え方に近いもの1つを選び、☑をつけてください。**

再エネ・省エネ設備等の導入	既に 導入している	今後 導入したい	導入する 考えはない	知らない、 分からない
1. 住宅への再エネ・省エネ設備の導入 (太陽光発電、地中熱利用設備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 家庭用蓄電池・燃料電池 (エネファーム) の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 住宅の省エネリフォーム (高断熱化、高気密化 ^{*5})	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 省エネ性能の高い家電やLED照明の購入 (買い替え)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. エコカーの導入 (ハイブリッド車、電気自動車等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. V2H (電気自動車に蓄えられた電力を家庭用に有効活用するシステム) の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 木質バイオマス ^{*6} ストーブ (薪・ペレットストーブ) の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*5 高気密化：建物の隙間を少なくし、室内の空気を外に出さず、外の空気を室内に入れないことで冷暖房の効率を高める構造のこと。

*6 木質バイオマス：樹木の伐採や造材のときに発生した枝葉などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの木材からなる生物資源のこと。

問6 太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備を導入することをどのように思いますか。**あてはまるものを全て選び、回答欄に☑をつけてください。**

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入について	回答欄
1. 光熱費を削減できる	<input type="checkbox"/>
2. 地球温暖化対策等に役立つ	<input type="checkbox"/>
3. 自然や地域資源を有効に活用できる（木材や廃熱の活用等）	<input type="checkbox"/>
4. 産業や観光の振興に役立つ（荒廃農地の再生、施設の見学等）	<input type="checkbox"/>
5. 災害や停電など、万一の場合の備えになる	<input type="checkbox"/>
6. 導入やメンテナンスに費用がかかる（投資額を回収できない）	<input type="checkbox"/>
7. 手間がかかり、面倒である	<input type="checkbox"/>
8. 効果は低く、必要性を感じない	<input type="checkbox"/>
9. 景観や生活環境、自然環境への悪影響がある（騒音問題、森林伐採等）	<input type="checkbox"/>
10. 導入することのメリット・デメリットがよくわからない	<input type="checkbox"/>

問7 丹波市では、脱炭素に向けた取り組みの一つとして、「薪ストーブ・薪ボイラー設置補助金」^{注2)}など、木質バイオマスの利活用を推進しています。**木質バイオマスの利用を更に活発にするには、どのような取り組みが重要だと思いますか。あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑をつけてください。**

木質バイオマスの利活用推進のための取り組み	回答欄
1. 木質バイオマスに関する広報、情報発信（普及啓発）	<input type="checkbox"/>
2. 薪ストーブ、木質ボイラーの設置促進（補助金）	<input type="checkbox"/>
3. 公共施設への薪ストーブ、木質ボイラーの設置促進	<input type="checkbox"/>
4. 住宅等の新築、増改築における地元産材の利用促進（補助金等）	<input type="checkbox"/>
5. 公共施設の新築、増改築における地元産材の利用促進	<input type="checkbox"/>
6. 市民参加型で森林整備を進める取組（丹波市木の駅プロジェクト ^{注3)} ）の推進	<input type="checkbox"/>
7. 木質バイオマス発電設備の導入	<input type="checkbox"/>
8. 木材を炭化し土壌改良材に利用する等、農業や畜産業での利用促進	<input type="checkbox"/>

注2) 「薪ストーブ・薪ボイラー設置補助金」については右のQRコードから丹波市ホームページにアクセスいただけます。



注3) 「丹波市木の駅プロジェクト」については右のQRコードから丹波市ホームページにアクセスいただけます。



脱炭素社会の実現に向けた丹波市の取組について

問8 丹波市は、令和4年12月に丹波市長と丹波市議会議長の連名で、地球規模の課題である気候変動の解決及び脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」について、**あてはまるもの1つを選び、番号に○**をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことはない（今回、初めて聞いた） |  |
|---|---|

問9 丹波市は、「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」の表明にあたり、日々の生活で取り組めるものを「丹波市ゼロカーボンアクション」としてまとめています。「丹波市ゼロカーボンアクション」について、**あてはまるもの1つを選び、番号に○**をつけてください。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組んでいる 2. よく知っている 3. 聞いたことがある 4. 聞いたことはない（今回、初めて聞いた） |  |
|---|--|

問10 丹波市は、地球温暖化対策の一環として、CO₂排出削減やリサイクル等の推進を目的に「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」を設けています。同制度について、**あてはまるもの1つを選び、番号に○**をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたことはない（今回、初めて聞いた） |  |
|---|---|

問11 地球温暖化や再エネ・省エネに関する情報をどこから得ていますか。**あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑**をつけてください。

地球温暖化や再エネ・省エネに関する情報	回答欄
1. テレビ、ラジオ	<input type="checkbox"/>
2. 新聞、雑誌、書籍	<input type="checkbox"/>
3. 市報、その他の行政の広報誌・パンフレット等	<input type="checkbox"/>
4. インターネット（ホームページやSNS等）	<input type="checkbox"/>
5. 講演会、研修、シンポジウム等の催し	<input type="checkbox"/>
6. 友人、知人、家族（学校や職場を含む）	<input type="checkbox"/>

問 12 あなたは「ゼロカーボンシティの実現」に向けて取り組みを進めるために、どのような情報が必要ですか。**あてはまるもの全ての回答欄にチェック☑**をつけてください。

ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み情報について	回答欄
1. 地球温暖化や気候変動の原因・メカニズムについての情報	<input type="checkbox"/>
2. 地球温暖化や気候変動の現状に関する情報	<input type="checkbox"/>
3. 地球温暖化や気候変動が私たちの生活に及ぼす影響に関する情報	<input type="checkbox"/>
4. ゼロカーボンシティ実現に向けた行動・取り組みに関する情報	<input type="checkbox"/>
5. ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みの支援（補助）制度の情報	<input type="checkbox"/>
6. ゼロカーボンシティ実現のために活動している団体やNPO等の情報	<input type="checkbox"/>
7. ゼロカーボンシティに関する講演会・勉強会・イベント等の情報	<input type="checkbox"/>

問 13 「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、ご意見やご感想がございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

あなたご自身、ご家族、お住まいについて

問 14 あなたご自身について、**あてはまるもの1つを選び番号に○**をつけてください。

①お住まいの地域	1. 柏原地域 2. 氷上地域 3. 青垣地域 4. 春日地域 5. 山南地域 6. 市島地域
②あなたの年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
③世帯人数(ご自身を含む)	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上
④お住まいの住居	1. 一戸建て住宅 2. 集合住宅

*** ご協力ありがとうございました ***

※記入済みのアンケート用紙は同封の返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに郵便ポストへご投函ください。

ゼロカーボンシティの実現に向けた丹波市地球温暖化対策実行計画

策定のための事業者アンケート調査のお願い

令和5年10月

日ごろから市の環境行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
丹波市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」^{注)}を表明しています。ゼロカーボンシティの実現には、市民・事業者・行政が連携・協働しながら、再生可能エネルギーの導入や気候変動対策を推進する必要があります。そこで、ゼロカーボンシティ実現を目指した計画として、「丹波市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた検討を進めており、事業者のみなさまのご意見やお考えを計画に反映するため、市民意識調査を実施します。

ご多忙のところお手数をおかけしますが、調査にご協力いただきますよう、よろしく
お願いいたします。 丹波市

注)「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」の内容については、右のQRコードから
丹波市ホームページにアクセスいただけます。



【ご記入にあたって】

- 本アンケートは、**市内の事業者から100者を無作為に抽出**し、送付しています。
- 丹波市内外に複数の事業所・営業所などがある場合は、設問に応じて丹波市内のもの**についてご回答ください。
- 回答内容は統計的に処理され、**事業者が特定されることはありません**。また、本調査の目的以外に使用することも一切ございません。

【ご返送にあたって】

- 記入済みのアンケート用紙は同封の返信用封筒に入れ、
令和5年 **11月6日（月）まで** に郵便ポストへご投函ください。
- 返信用切手は不要です**。また、封筒に住所・氏名等の記入も不要です。

アンケート調査についての不明な点やご質問は、下記までお問い合わせ下さい。

調査主体：丹波市 生活環境部 環境課

電話：0795（82）1290（直通） 土曜・日曜・祝日を除く平日

FAX：0795（82）1821 8：30～17：15

脱炭素への取り組みについて

問1 脱炭素への取り組みについて、項目ごとに貴事業所の考え方に近いもの1つを選び、をつけてください。

事業活動での脱炭素への取組		既に実施している	今後実施したい	実施する考えはない
省エネ行動	1. 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に温度を設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 昼休み等、不要な照明をこまめに消灯	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. OA機器等の未使用時にはスイッチをOFFにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. クールビズ・ウォームビズの取り組みの実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 事務用品等は環境配慮商品（エコマーク商品等）を選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環境活動	6. 包装・梱包の削減、再利用の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7. ごみの分別や資源リサイクルへの取り組み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8. 環境保全活動への協力・参加（リサイクル活動、緑化等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9. 従業員への環境教育	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
移動	10. 従業員のマイカー通勤の抑制	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11. エコドライブ（アイドリングストップ等）の徹底	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12. 物流の効率化による、自動車の利用の抑制	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設備・機器	13. 省エネ設備・機器の積極的な導入・更新	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14. 高効率の照明（LED照明等）の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15. 高効率の空調機器・空調システム、給排水設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16. 再生可能エネルギー設備の積極的な導入・更新	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建物	17. デマンド監視装置などの電力管理システムの導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	18. エネルギーマネジメントシステム（BEMS、FEMS等） ^{*1} の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	19. ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB） ^{*2} の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	20. 建物の断熱性（断熱ガラスや断熱シート等）の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	21. 事業所の敷地内や屋上の緑化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事業活動での脱炭素への取組		既に実施 している	今後実施 したい	実施する 考えはない
エネルギー管理	22. エネルギー使用状況の把握・分析	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	23. 節電等によるソフト面でのピークカット*3対策の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	24. 省エネ診断等、専門家の視点を取り入れた省エネ対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	25. CO ₂ 排出原単位等を管理指標とした、エネルギー管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	26. 製造工程等におけるエネルギー効率の向上（モーショ ンセンサー、エネルギーマネジメントシステム等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	27. 環境負荷の少ない燃料の使用、燃料への転換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	28. 温室効果ガスの削減目標の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	29. CO ₂ 実排出係数の低い電力会社からの電力調達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業活動	30. ESCO 事業*4を取り入れた省エネ対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	31. 環境マネジメントシステム（EMS）を導入（ISO 等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	32. 取引先との契約に際し、環境配慮を要請	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	33. J-クレジット制度*5への参加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- *1 BEMS・FEMS：建物のエネルギーの消費を監視/制御するシステム（Energy Management System）のこと。BEMSは商用ビル向け（Building）、FEMSは工場向け（Factory）のシステム。利用されている電気を「見える化」し、電気設備を制御することでエネルギーを無駄なく賢く使う。
- *2 ZEB：「Net Zero Energy Building」の略。年間のエネルギー消費量の収支をゼロ以下とすることを目指した建物のこと。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーを作ることによってエネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにする。
- *3 ピークカット：使用電力の最も多い時間帯の電力の使用量を削減すること。
- *4 ESCO 事業：「Energy Service Company」事業の略。顧客が目標とする省エネルギーの課題に対して包括的なサービスを提供し、実現した省エネルギー効果（導入メリット）の一部を報酬として受け取る事業のこと。
- *5 J-クレジット：省エネ設備の導入や再エネの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

問2 貴事業所の身の回りで、どのような地球温暖化や気候変動の影響を感じますか。該
 当する全ての回答欄にチェック☑をつけてください。

身の回りで感じる、地球温暖化や気候変動の影響	回答欄
1. 猛暑日や熱帯夜の増加による生産活動等への影響	<input type="checkbox"/>
2. 桜の開花や紅葉の時期の変化等、季節感の変化に伴う生産量への影響	<input type="checkbox"/>
3. 局所的な豪雨や洪水・浸水による自然災害の増加	<input type="checkbox"/>
4. 熱中症等の労働環境の悪化	<input type="checkbox"/>
5. 原材料の供給量や品質の低下、価格の変動	<input type="checkbox"/>
6. 気温や積雪量の変化による、品質管理や輸送への影響	<input type="checkbox"/>
7. 動植物の生息域の変化による衛生対策の変化	<input type="checkbox"/>
8. 降雨の減少による水不足	<input type="checkbox"/>

問3 国の計画では「2030年までに、国全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減」する目標を掲げています。貴事業所からの温室効果ガス排出量について、把握・削減目標の設定・公表をされていますか。該当する回答欄に☑をつけてください。

温室効果ガス排出量について	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組むつもりはない	知らない・わからない
1. 温室効果ガス排出量の把握	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 温室効果ガス排出削減目標の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 温室効果ガス排出量の公表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問4 貴事業所は、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比でどの程度、削減できると考えていますか。該当する回答欄に☑をつけてください。

2030年の温室効果ガス排出量の削減率（見込み）※2013年度比						
削減できない	10%削減できる	20%削減できる	30%削減できる	40%削減できる	50%以上削減できる	わからない
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問5 貴事業所では、**事業活動に伴うエネルギー使用量等**について、把握していますか。項目ごとに該当する回答欄に☑をつけてください。

事業活動によるエネルギー等		詳細を把握している	概数では把握している	把握していない	使用していない
施設・建物	1. 電気使用量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 燃料（ガソリン、軽油、灯油、LPG、重油等）使用量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 水の使用量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 紙の使用量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社用車等	5. 社用車の年間走行距離	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6. 社用車の年間燃料使用量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

地球温暖化対策や気候変動対策について

問6 丹波市は、地球温暖化対策の一環として、CO₂排出削減やリサイクル等の推進を目的に「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所認定制度」を設けています。同制度について、**貴事業所のお考えをお教えてください。該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。**

<ol style="list-style-type: none"> 1. 「丹波市地球温暖化防止対策推進事業所」に登録している 2. 認定制度について知っており、今後、登録を検討したい 3. 認定制度について知っているが、現段階では、登録の予定はない 4. 認定制度について、聞いたことはある 5. 認定制度について、聞いたことがない、知らない 	
--	---

問7 地球温暖化や気候変動は、貴事業所の事業活動にどのような影響を及ぼすとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. ビジネスチャンスの一つと捉え、事業活動にプラスの影響があると考えている |
| 2. プラス要因、マイナス要因はなく、事業活動に影響はないと考えている |
| 3. 地球温暖化対策費用の発生等、事業活動にマイナスの影響があると考えている |
| 4. 現段階では情報が不十分であり、事業活動への影響は判断できないと考えている |

問8 貴事業所が地球温暖化対策や気候変動対策を進めていくうえで、市が優先的に取り組む必要があると思うもの3つの回答欄に☑をつけてください。

地球温暖化対策や気候変動対策を進めていく上で必要な市の施策	回答欄
1. 地球温暖化対策や気候変動対策に関する情報の提供	<input type="checkbox"/>
2. 地球温暖化対策や気候変動対策を進めるためのリーダー育成の支援	<input type="checkbox"/>
3. 省エネ診断や ISO 認証等に関する指導・助言（専門家の派遣）	<input type="checkbox"/>
4. 省エネ設備導入や再生可能エネルギーの活用等に対する補助・融資制度	<input type="checkbox"/>
5. 表彰制度など、環境配慮活動を盛り上げる仕掛けやインセンティブ付与	<input type="checkbox"/>
6. 環境配慮製品・サービスの広報支援	<input type="checkbox"/>
7. 事業者間の連携・協力体制の構築、大学等との産学連携の支援	<input type="checkbox"/>
8. 事業者と行政の連携による新たな取組の実施	<input type="checkbox"/>

問9 再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備を導入等、地球温暖化対策や気候変動対策について、どのようにお考えですか。あてはまるものを全て選び、回答欄に☑をつけてください。

再エネ・省エネ設備等の導入について	回答欄
1. 企業の社会的責任として取り組む必要がある	<input type="checkbox"/>
2. 業績によい影響をもたらす	<input type="checkbox"/>
3. 企業イメージの向上に効果がある	<input type="checkbox"/>
4. 新事業の開拓等につながる。ビジネスチャンスである	<input type="checkbox"/>
5. 同業者間の取り決めがある	<input type="checkbox"/>
6. 取引企業から要請がある（取引上、取り組む必要がある）	<input type="checkbox"/>
7. 導入や導入後のメンテナンス費用が高額である	<input type="checkbox"/>
8. 導入する考えはない	<input type="checkbox"/>

再生可能エネルギーと省エネルギー設備の導入可能性について

問 10 再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入について、**項目ごとに貴事業所の考え方に近いもの1つを選び、☑をつけてください。**

再エネ・省エネ設備等の導入	既に導入している	今後、導入したい	導入する考えはない	知らない、分からない
1. 太陽光発電設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 風力発電設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 小水力発電設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. バイオマス発電設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. コージェネレーションシステム*6の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 業務用蓄電池の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 業務・産業用燃料電池の導入(SOFC*7)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 工場等の廃熱・余熱利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 太陽熱利用設備（屋根置き温水器等）の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 地中熱利用設備の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 次世代自動車（ハイブリッド車や電気自動車等）の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 薪ストーブ、木質ボイラー（薪ボイラー、チップボイラー）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*6 コージェネレーションシステム：天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。

*7 SOFC：「Solid Oxide Fuel Cell」（固体酸化物形燃料電池）の略。燃料（水素）と酸素を化学反応させて発電し、排熱を回収することで、熱としてもエネルギーを供給可能な、高エネルギー効率発電ユニット。

貴事業所の概要について

問 11 貴事業所の概要についてお伺いします。項目ごとに該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

①業種 (○は1つ)	1. 農林水産業 2. 金融・保険業 3. 建設業 4. 不動産業、物品賃貸業 5. 製造業 6. 飲食店、宿泊業 7. 電気・ガス・熱・水道業 8. 医療、福祉 9. 情報通信業 10. 教育、学習支援業 11. 運輸業、郵便業 12. サービス業 13. 卸売・小売業 14. その他
②事業所の従業員数 (アルバイト等含む)	1. 1～9人 2. 10～29人 3. 30～49人 4. 50～99人 5. 100～299人 6. 300人以上
③事業所の形態 (複数選択可)	1. 事務所 (オフィス) 2. 店舗 3. 工場 4. 物流施設 5. その他 ()
④延床面積	1. 100㎡未満 2. 100～499㎡ 3. 500～999㎡ 4. 1,000～1,999㎡ 5. 2,000～2,999㎡ 6. 3,000～4,999㎡ 7. 5,000～9,999㎡ 8. 10,000㎡以上
⑤建物の所有状況	1. 自社所有 2. 賃貸 (建物全体を借り) 3. 賃貸 (建物の一部を借り) 4. その他 ()
⑥省エネ法による区分 <u>(該当するもの全てに○をつけて下さい)</u>	1. 特定事業者、特定連鎖化事業者 2. 認定管理統括事業者 (管理関係事業者を含む) 3. 特定貨物輸送事業者、特定旅客輸送事業者又は特定荷主 4. 認定管理統括貨客輸送事業者又は認定管理統括荷主 5. 特定建築物

問 12 「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、ご意見やご感想がございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

*** ご協力ありがとうございました ***

※記入済みのアンケート用紙は同封の返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに郵便ポストへご投函ください。